

CATV-Y インターネット設定手順書 Ver9.0p

プライベートIPアドレス固定設定用
(Microsoft Windows2000・XP・Vista・7版)



ケーブルテレビ山形



－目次－

第一章	はじめに	3
	ルーター使用時の注意	5
第二章	ネットワークの設定	6
	プライベート I P アドレス固定方式	6
	Windows2000	6
	Windows XP	10
	Windows Vista	15
	Windows 7	20
第三章	ケーブルモデムの動作確認と接続方法	25
第四章	メールの設定	30
	Outlook Express5. x/(6. x)	31
	Windows メール	37
	Outlook2007	44
	Windows live メール	47
第五章	付記	53
	落雷の故障防止法	53
	Q&A	55

この手順書は、Windows 2000、XP、Vista、7（以下Windowsと記述します。）でケーブルテレビ山形のCATVインターネット使用環境をセットアップする手順を説明するものです。

第一章 はじめに

パーソナルコンピュータ（以下パソコンと記述します。）をインターネットに接続することは、他の多くのコンピュータと通信網を介して接続がなされるということを意味します。大多数の人々は善意の利用者ですが、中には悪意をもって人のパソコンに侵入し危害を与えるものもあります。ネットワークに接続することにより多くのメリットが得られますが、同時に危害を加えられることもあることを認識し、ケーブルモデム（以下モデムと記述します）以降のセキュリティにつきましては、ユーザー各自の責においてご対応下さい。

また、雷対策について記した 53 ページの「第五章 付記」には、雷によるパソコンやモデムの故障を防ぐ方法がありますので、ご参照ください。

第二章 ネットワークの設定

「プライベートIPアドレス固定方式」では、インターネットで通信を行うために必要な設定（TCP/IP設定）を行います。通信を行う際は、「IPアドレス」というユーザー固有の番号をパソコンに設定する必要があります。

弊社インターネット接続サービスでは、IPアドレスの割当方法として「グローバルIPアドレス動的割当方式」と「プライベートIPアドレス固定方式」の2種類があります。グローバルIP動的割当（DHCP）に変更したい場合は、申込み（無料）が必要です。

詳細は、弊社ホームページをご覧ください。→ <http://www.catvy.jp/support/>

1. グローバルIPアドレス動的割当（DHCP）方式

「グローバルIPアドレス方式」は、プライベートIPアドレスやファイアウォールによる制限はありませんので、様々なオンラインゲームや、電子会議システムなどのコミュニケーションツールを利用できる自由度の高い環境といえます。

またグローバルIPアドレス方式は動的割当（DHCP）を行いますので、プライベートIPアドレス方式のように固定でIPアドレスを設定するのではなく、パソコンの電源を入れた際に、自動的にパソコンにグローバルIPアドレスが配布される形となります。

2. プライベートIPアドレス固定方式

「プライベートIPアドレス方式」は、プライベートIPアドレスというケーブルテレビ山形ネットワーク内でのみ通用するIPアドレスを用いており、弊社内部のファイアウォール設備を経由してインターネットに接続しております。プライベートIPアドレス及びファイアウォールの特性上、市販のオンラインゲームや、電子会議システムなど、一部のインターネットアプリケーションの利用に制限がでる場合があります。

プライベートIPアドレス固定方式の設定方法

プライベートIPアドレス固定方式では、「IPアドレス」というユーザー固有の番号をパソコンに設定する必要があります。IPアドレスは別紙「パラメータシート」またはモデム裏側のシールにある「IPアドレス」の項目をご参照ください。また、サブネットマスク、プライマリ・セカンダリDNS・ゲートウェイアドレスも設定する必要があります、これらは、下記に示すユーザー共通のものを指定します。

<プライベートIPアドレス設定情報>

IPアドレス	: 10.1.x.x (「パラメータシート」か、「モデム裏側のシール」を参照)
サブネットマスク	: 255.255.0.0
プライマリDNSアドレス	: 10.1.1.252
セカンダリDNSアドレス	: 10.1.1.251
ゲートウェイアドレス	: 10.1.1.253

設定方法については、以下のページにお進みください。

・Windows 2000	→ 6ページ
・Windows XP	→ 10ページ
・Windows Vista	→ 15ページ
・Windows 7	→ 20ページ

※セキュリティ対応に関する注意事項

インターネットに接続するということは、世界中からお客様のパソコンに対してアクセスできることを意味します。そのため、セキュリティの対応が弱いと不正アクセスのターゲットとされる場合があります。具体的には、Windowsのセキュリティホールを突いたウイルスやボットなどに感染することにより、パソコン内部のプライベートな情報を見られたり、お客様の知らない間に、お客様のパソコンを利用して外部に不正アクセスをする、などです。このような不正アクセスの防止のために、Windowsのセキュリティアップデートをこまめに行うことや、お客様ご自身でファイアウォールの準備をされるなど十分なセキュリティ対策を施した上で利用することをお勧めいたします。また、Windows95/98/Meは、マイクロソフトのサポートが終了しており、セキュリティ的に非常に脆弱なため使用はお勧めできません。

お客様がご使用のパソコンのセキュリティ確保は、お客様の自己責任となります。万一、何らかの被害が発生しても弊社では補償いたしかねます。セキュリティ情報については、下記のサイトに詳細がございます。ぜひ、ご参照いただきますことをお勧めいたします。

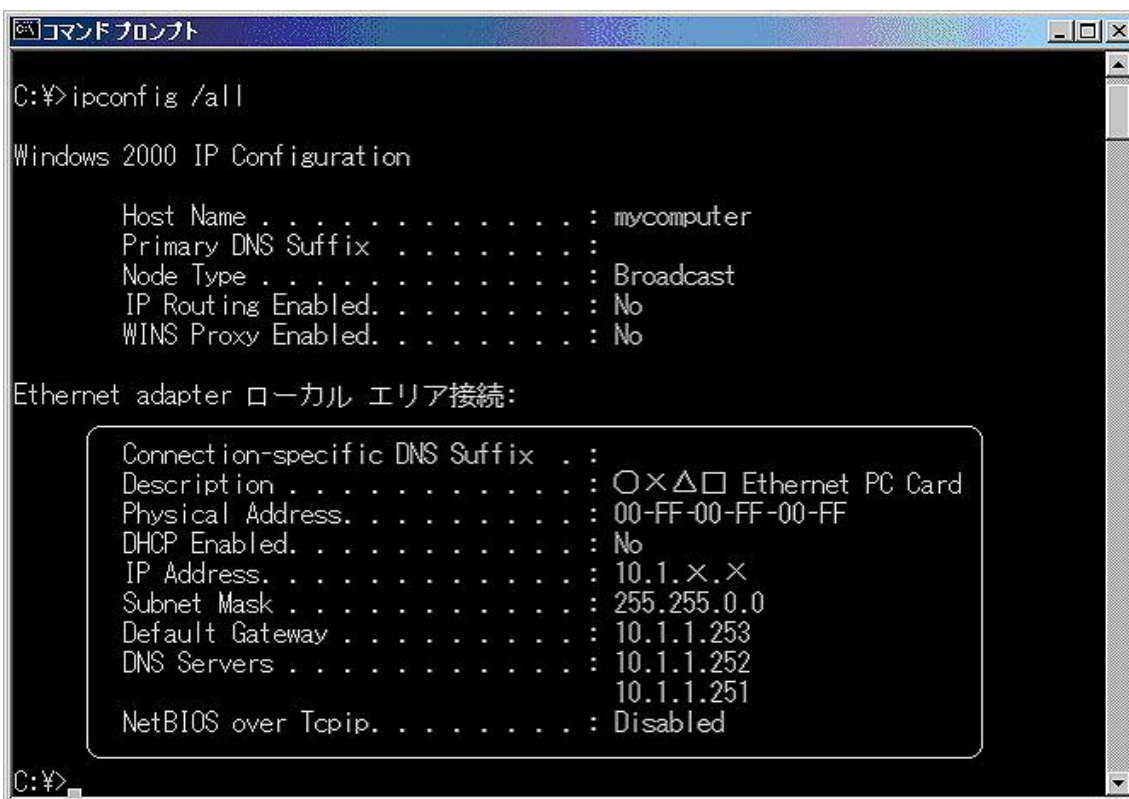
●総務省・経済産業省連携プロジェクト・「サイバークリーンセンター」
<https://www.ccc.go.jp/>

※ブロードバンドルーター（有線・無線）使用時の注意

現在ご利用中の環境でブロードバンドルーターをご利用中の場合は、パソコンの設定を「IPアドレスを自動的に取得する」設定にし、ブロードバンドルーターのWAN側の設定を「IPアドレスの手動設定」にする必要があります。なお、現在の環境がご不明の場合は下記の画面より現在の設定をご確認ください。

スタートメニュー→「プログラム（すべてのプログラム）」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」で、「ipconfig /all」をコマンド入力してください。

ここで、DNSサーバー（優先・代替）、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが下図のように表示される場合はモデムとパソコンが直接接続されています。

A screenshot of a Windows 2000 Command Prompt window titled "コマンドプロンプト". The command "C:\>ipconfig /all" has been entered. The output shows the "Windows 2000 IP Configuration" section with details for "mycomputer", including Host Name, Primary DNS Suffix, Node Type (Broadcast), IP Routing Enabled (No), and WINS Proxy Enabled (No). Below this, the "Ethernet adapter ローカル エリア接続:" section is highlighted with a white border, showing details for the Ethernet PC Card, including Physical Address (00-FF-00-FF-00-FF), IP Address (10.1.X.X), Subnet Mask (255.255.0.0), Default Gateway (10.1.1.253), DNS Servers (10.1.1.252, 10.1.1.251), and NetBIOS over Tcpip (Disabled).

```
C:\>ipconfig /all

Windows 2000 IP Configuration

    Host Name . . . . . : mycomputer
    Primary DNS Suffix . . . . . :
    Node Type . . . . . : Broadcast
    IP Routing Enabled. . . . . : No
    WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . :
    Description . . . . . : 〇×△□ Ethernet PC Card
    Physical Address. . . . . : 00-FF-00-FF-00-FF
    DHCP Enabled. . . . . : No
    IP Address. . . . . : 10.1.X.X
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.0.0
    Default Gateway . . . . . : 10.1.1.253
    DNS Servers . . . . . : 10.1.1.252
                             10.1.1.251
    NetBIOS over Tcpip. . . . . : Disabled

C:\>
```

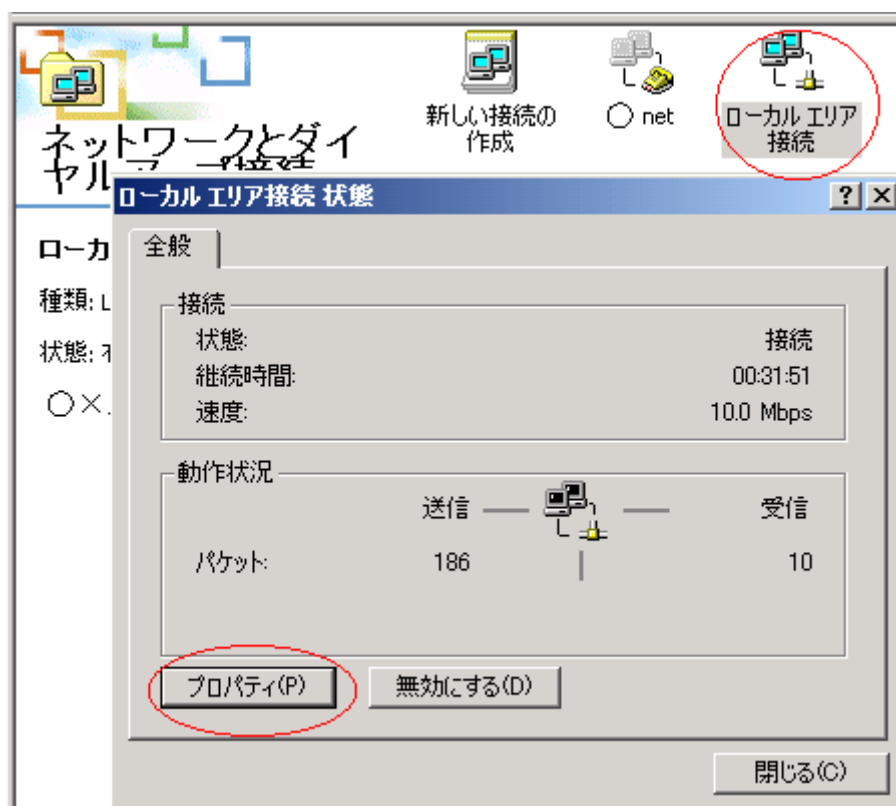
※ OSにより画面が若干異なります。（この図は Windows2000 の場合です）

また、ここでIPアドレスなどの表示が「192.168.X.X」になる場合はモデムとパソコンの間にブロードバンドルーターが接続されています。

Windows 2000

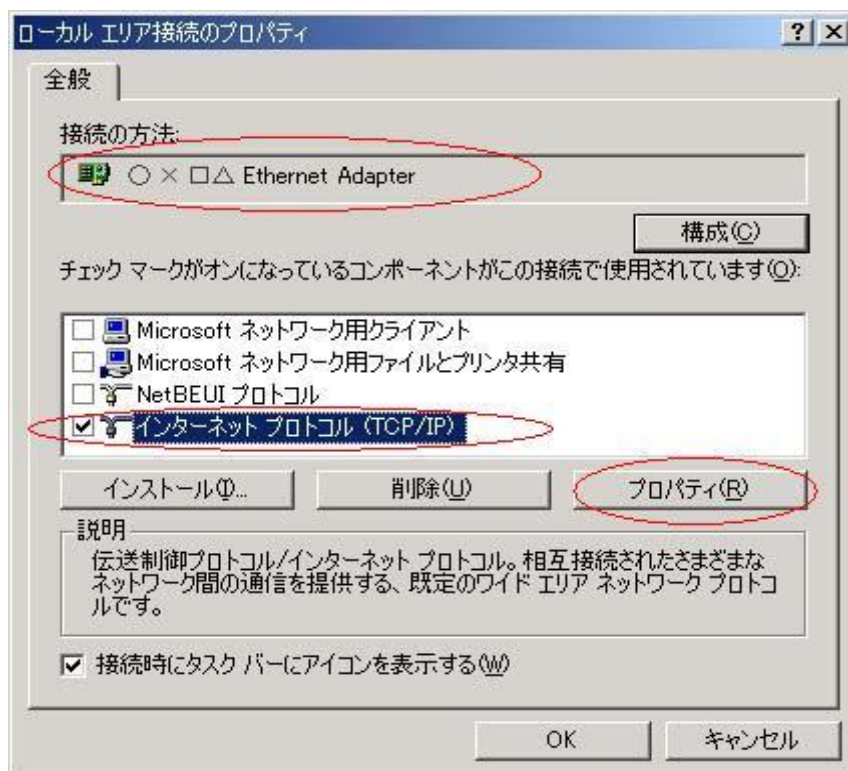
イーサネットアダプタをイーサネットアダプタ付属のマニュアルに従ってパソコンにセットしてください。（イーサネットアダプタが内蔵されているパソコンもあります。）

イーサネットアダプタのセットが終了しましたら、**スタート**メニューの「設定」か、「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」を開き、「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択し、開きます。さらに「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。下図の様に「ローカルエリア接続状態」のウィンドウが開きましたら、「プロパティ」ボタンをクリックします。



「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されましたら、「接続の方法」にインストール済みのイーサネットアダプタが表示されます。表示されない場合は、イーサネットアダプタを再度インストールしてください。

下図のように「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が一覧の中に入っていれば、左のチェックボックスにチェックが入っていることを確認していただきます。入っていたら、これを選択し、「プロパティ」ボタンを押してください。



一覧に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が無い場合、「インストール」をクリックし、「プロトコル」を選択し「追加」、さらに「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「OK」を押すと、項目が追加されます。

なお、「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「NetBEUI」などはCATVインターネット接続環境では使用しませんので、必要が無い場合は、上図のように左のチェックをはずしていただくか、「削除」ボタンで削除いただくことをお奨めいたします。(削除した内容があとから必要になった際は「インストール」から追加可能です。)

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」のウィンドウが開きましたら、「次のIPアドレスを使う」にチェックをいれ、「IPアドレス」を別紙パラメータシートか、モデム裏側の「IPアドレス」のシールを参照して入力します。間違えると通信できなくなりますので正確に設定してください。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目には以下をご指定ください。

IP アドレス：パラメータシートまたは、モデム裏面を参照

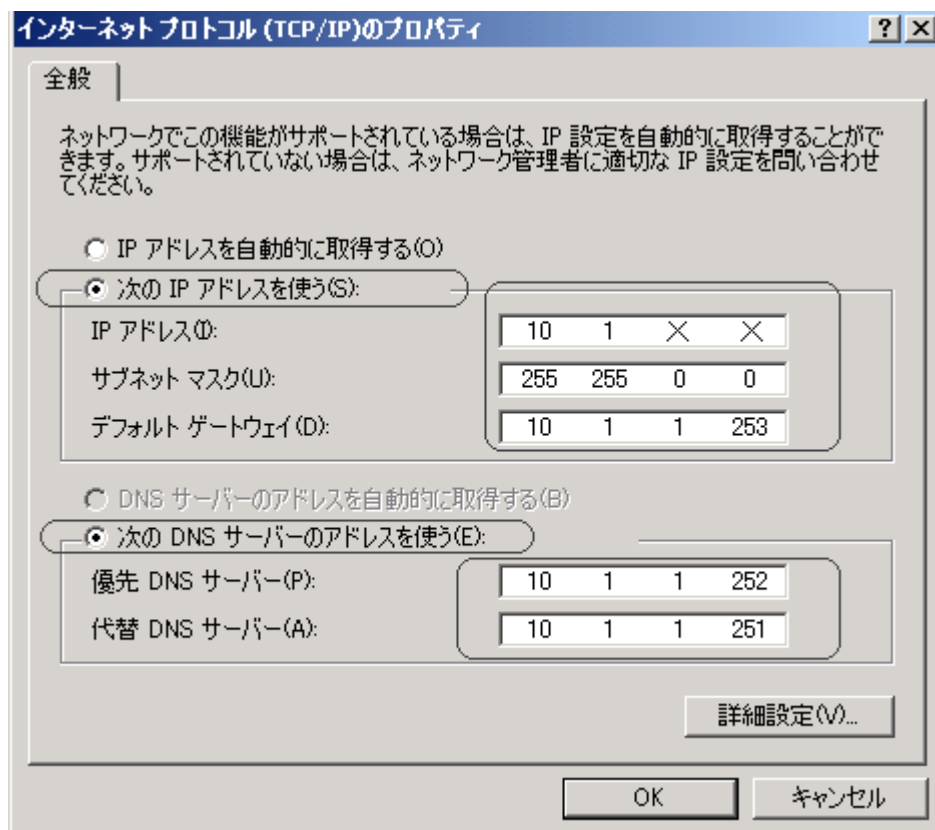
サブネットマスク：255.255.0.0

デフォルトゲートウェイ：10.1.1.253

次に「次のDNSサーバーのアドレスを使う」にチェックを入れ、以下の内容をご指定ください。

優先DNSサーバーのIPアドレス：10.1.1.252

代替DNSサーバーのIPアドレス：10.1.1.251



次に同じ画面の「詳細設定」ボタンをクリックし、「TCP/IP 詳細設定」のウィンドウが開きましたら、「WINS」のタブをクリックします。下のほうにある「NetBIOS over TCP/IP を無効にする」のチェックをいれて、「OK」ボタンを押してください。「この接続のプライマリ WINS アドレスが空です。続行しますか？」というメッセージがでる場合がありますが、その場合は「はい」を選択してください。

「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」のチェックでも通信に支障はありませんが、ファイル共有サービスなどの共有資源は、CATVY インターネットに接続されている他のパソコンから共有されるおそれがあります。

次に「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を「OK」ボタンで閉じ、更に「ローカルエリア接続のプロパティ」も「OK」ボタンで閉じ、「ローカルエリア接続状態」も「閉じる」ボタンで閉じ、最後にパソコンを再起動し、新しい設定を有効にしてください。

設定の確認

ネットワークの設定が正常か確認します。**スタート**メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」で、「`ipconfig /all`」をコマンド入力してください。先ほど指定したホスト名・DNSサーバー（優先・代替）、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しく表示されているか確認します。画面の表示については、下図を参照してください。

```
C:\>ipconfig /all

Windows 2000 IP Configuration

Host Name . . . . . : mycomputer
Primary DNS Suffix . . . . . :
Node Type . . . . . : Broadcast
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection-specific DNS Suffix . :
Description . . . . . : 〇×△□ Ethernet PC Card
Physical Address. . . . . : 00-FF-00-FF-00-FF
DHCP Enabled. . . . . : No
IP Address. . . . . : 10.1.x.x
Subnet Mask . . . . . : 255.255.0.0
Default Gateway . . . . . : 10.1.1.253
DNS Servers . . . . . : 10.1.1.252
                        10.1.1.251
NetBIOS over Tcpip. . . . . : Disabled

C:\>
```

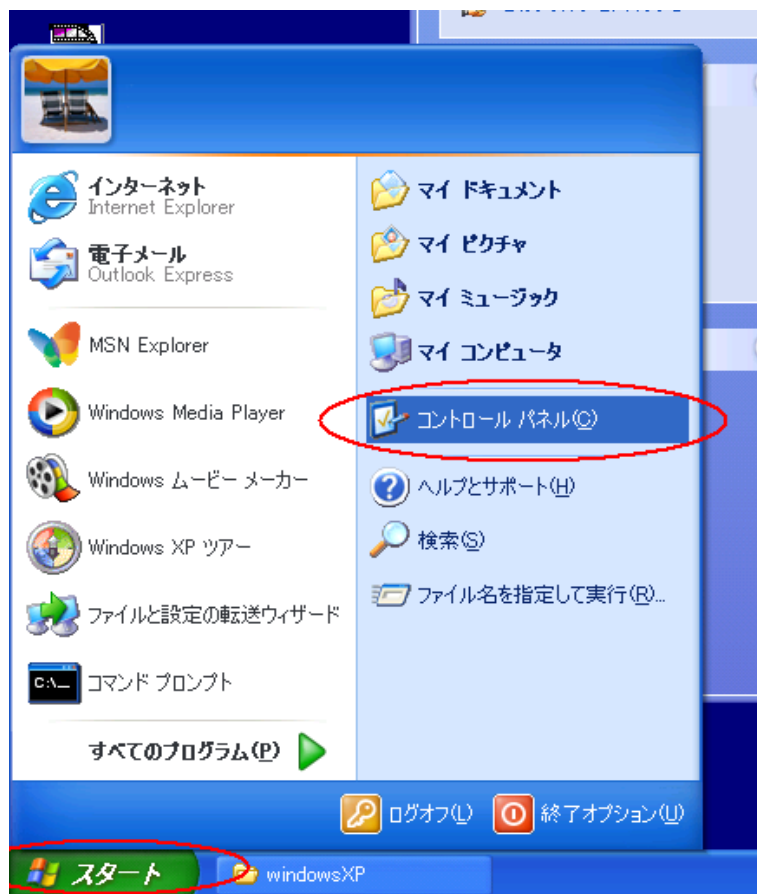
エキストラパックをご利用の場合は、インターネットに接続するパソコンすべてにこの作業を行ってください。設定の中で違いができるのは、各パソコンのIPアドレスだけです。

ここまでが正常に完了したら、接続設定は完了です。ケーブルモデムとパソコンを接続した状態で、インターネットアクセスが可能かお試しください。なおケーブルモデムとパソコンの接続については、第三章をご参考ください。

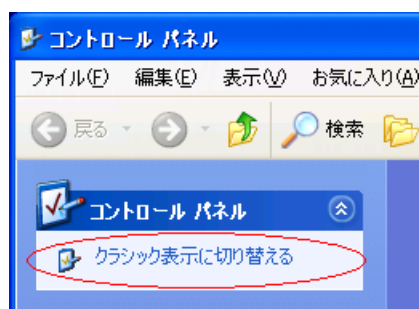
また、設定完了後もインターネットアクセスができない場合は、パソコン及びモデムの再起動をお試しください。なお、モデムには電源スイッチがございませんので、コンセントを抜いていただきますと、再起動いたします。

Windows XP

スタートメニューから、コントロールパネルを選択し、開いてください。

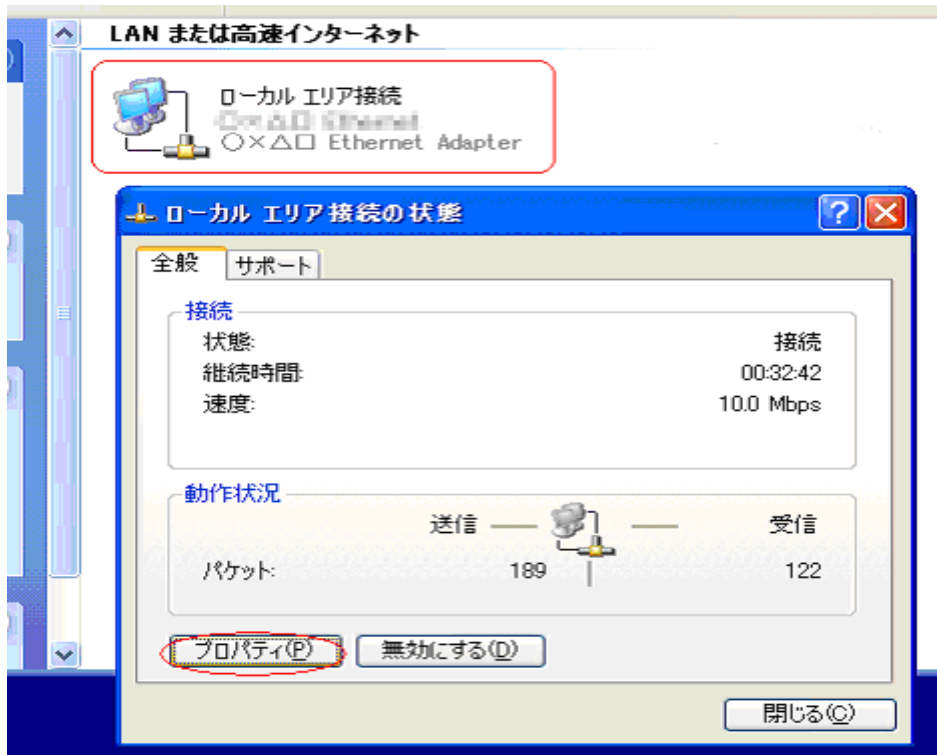


コントロールパネルを開いたら、左上の欄で「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

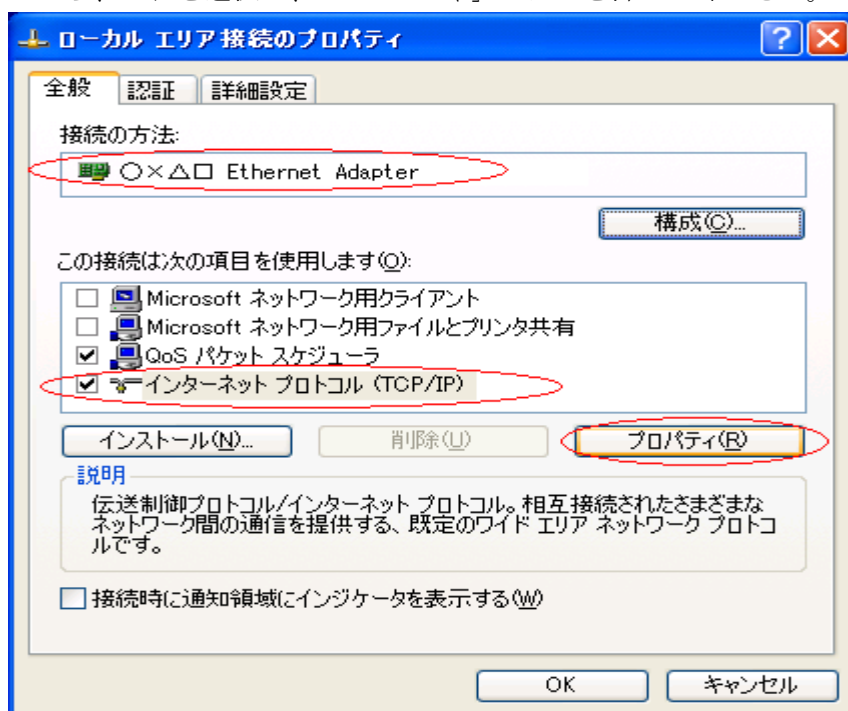


次に、モデムとパソコンがLANケーブルで接続された状態で、「コントロールパネル」内の「ネットワーク接続」をダブルクリックしてください。

次に「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。「ローカルエリア接続の状態」のウィンドウが表示されましたら、「プロパティ」ボタンを押します。



下図のように「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が一覧の中に入っていれば、左のチェックボックスにチェックが入っていることを確認していただきます。入っていたら、これを選択し、「プロパティ」ボタンを押してください。



一覧に「インターネットプロトコル (TCP / IP)」が無い場合、「インストール」をクリックし、「プロトコル」を選択し「追加」、さらに「インターネットプロトコル (TCP / IP)」を選択し、「OK」を押すと、項目が追加されます。

なお、「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などはCATVインターネット接続環境では使用しませんので、必要が無い場合は、上図のように左のチェックをはずしていただくか、「削除」ボタンで削除いただくことをお奨めいたします。(削除した内容があとから必要になった際は「インストール」から追加可能です。)

「インターネットプロトコル (TCP / IP) のプロパティ」のウィンドウが開きましたら、「次のIPアドレスを使う」にチェックをいれ、「IPアドレス」を別紙パラメータシートか、モデム裏側の「IPアドレス」のシールを参照して入力します。間違えると通信できなくなりますので正確に設定してください。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目には以下をご指定ください。

IP アドレス : パラメータシートまたは、モデム裏面を参照

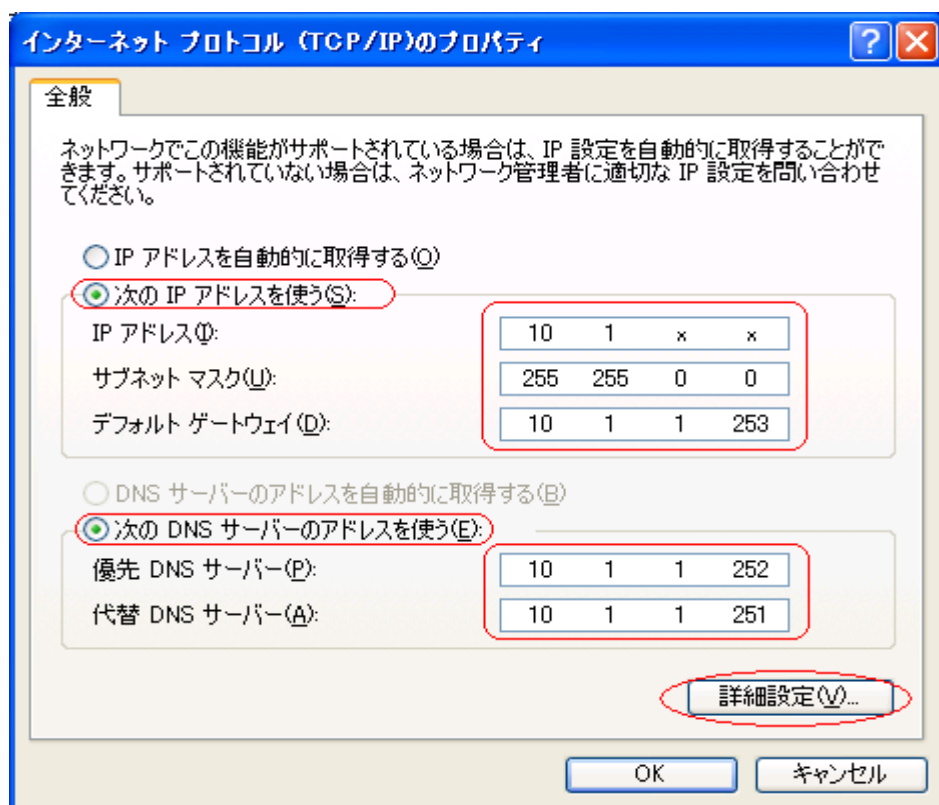
サブネットマスク : **255.255.0.0**

デフォルトゲートウェイ : **10.1.1.253**

次に「次のDNSサーバーのアドレスを使う」にチェックを入れ、以下の内容をご指定ください。

優先DNSサーバーのIPアドレス : **10.1.1.252**

代替DNSサーバーのIPアドレス : **10.1.1.251**



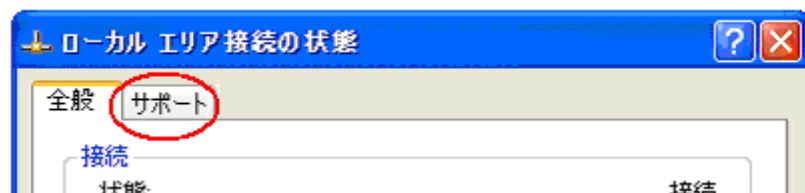
次に同じ画面の「詳細設定」ボタンをクリックし、「TCP/IP 詳細設定」のウィンドウが開きましたら、「WINS」のタブをクリックします。さらに「NetBIOS 設定」の項目で、「NetBIOS over TCP/IP を無効にする」のチェックを入れ、「OK」ボタンを押してください。「この接続のプライマリ WINS アドレスが空です。続行しますか？」というメッセージがでる場合がありますが、その場合は「はい」を選択してください。

「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」のチェックでも通信に支障はありませんが、ファイル共有サービスなどの共有資源は、CATVY インターネットに接続されている他のパソコンから共有されるおそれがあります。

次に「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を「OK」ボタンで閉じ、更に「ローカルエリア接続のプロパティ」も「閉じる」ボタンで閉じます。

設定の確認

「ローカルエリア接続の状態」の画面に戻りましたら、上部の「サポート」タブをクリックし、さらに「詳細(D)」をクリックし、設定情報の確認をします。



IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの項目に入力した各設定項目が正しく表示されているかをご確認ください。

エキストラパックをご利用の場合は、インターネットに接続するパソコンすべてにこの作業を行ってください。設定の中で違いがでるのは、各パソコンの IP アドレスだけです。

ここまでが正常に完了したら、接続設定は完了です。ケーブルモデムとパソコンを接続した状態で、インターネットアクセスが可能かお試しください。なおケーブルモデムとパソコンの接続については、第三章をご参考ください。

また、設定完了後もインターネットアクセスができない場合は、パソコン及びモデムの再起動をお試しください。なお、モデムには電源スイッチがございませんので、コンセントを抜いていただきますと、再起動いたします。

Windows Vista

スタートメニューから、コントロールパネルを選択し、開いてください。



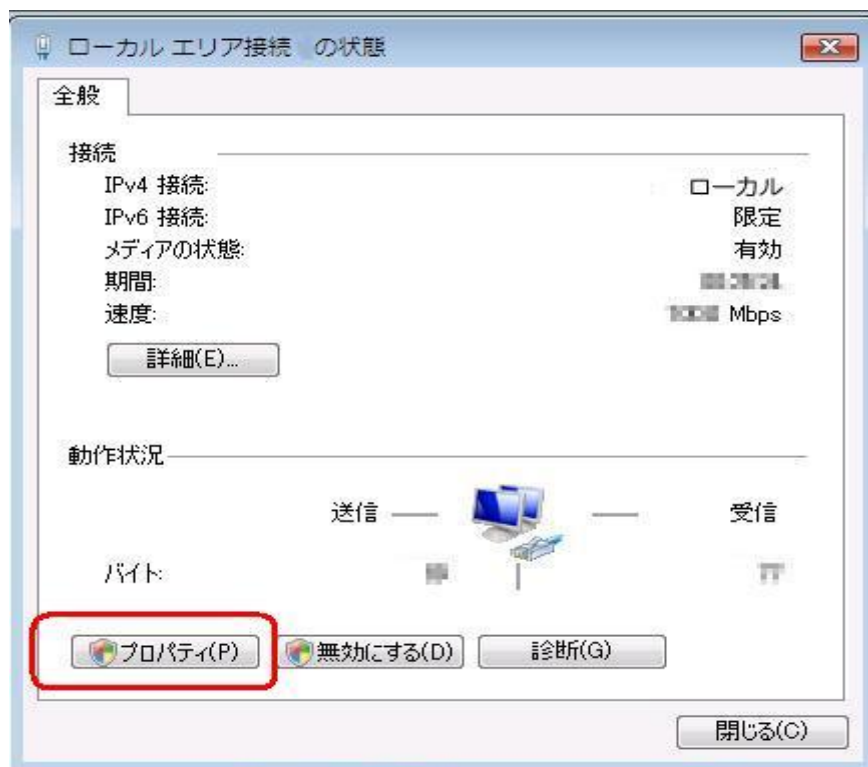
次に、モデムとパソコンがLANケーブルで接続された状態で、「コントロールパネル」内の「ネットワークとインターネット」内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をダブルクリックしてください。



次に「ローカルエリア接続」の右側の「状態の表示」をクリックします。

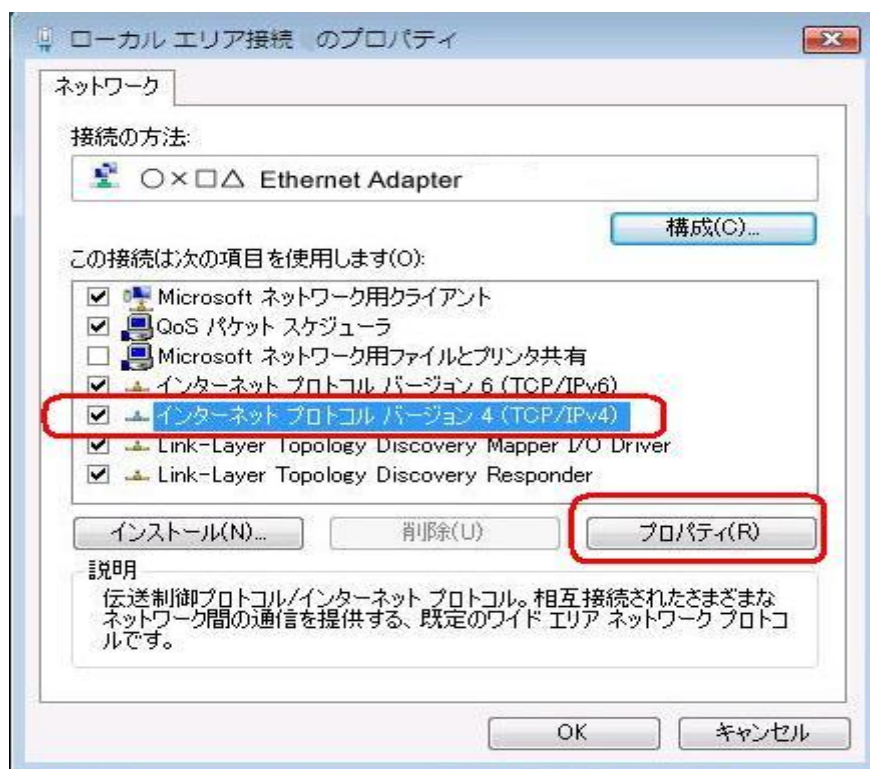


「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」ボタンを押してください。



「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示される場合がありますが、「続行」してください。次に、下図の通り「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、右下の「プロパティ」をクリックします。

「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」のウィンドウが開きましたら、「次の IP アドレスを使う」にチェックをいれ、「IP アドレス」を別紙パラメータシートか、モデム裏側の「IP アドレス」のシールを参照して入力します。間違えると通信できなくなりますので正確に設定してください。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目には以下をご指定ください。



IP アドレス：パラメータシートまたは、モデム裏面を参照

サブネットマスク：255.255.0.0

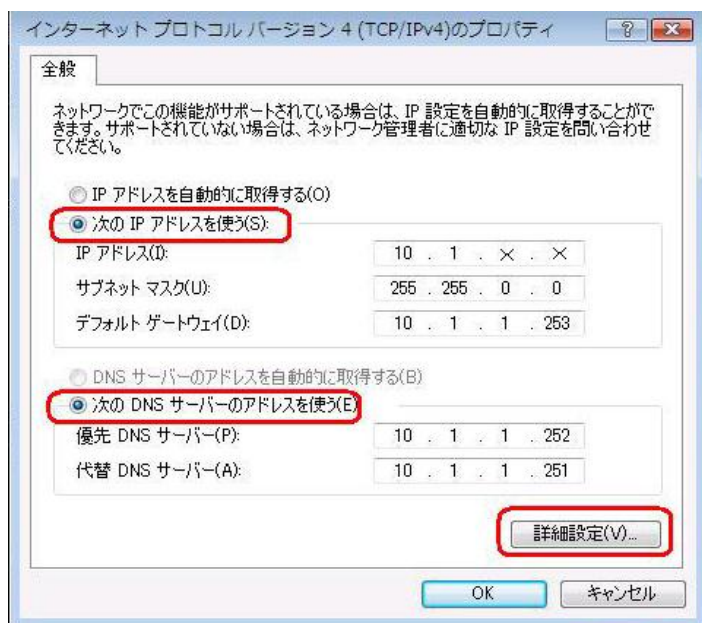
デフォルトゲートウェイ：10.1.1.253

次に「次の DNS サーバーのアドレスを使う」にチェックを入れ、以下の内容をご指定ください。

優先 DNS サーバーの IP アドレス：10.1.1.252

代替 DNS サーバーの IP アドレス：10.1.1.251

次に同じ画面の「詳細設定」ボタンをクリックし、「TCP/IP 詳細設定」のウィンドウが開きましたら、「WINS」のタブをクリックします。さらに「NetBIOS 設定」の項目で、「NetBIOS over TCP/IP を無効にする」のチェックを入れ、「OK」ボタンを押してください。「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」のチェックでも通信に支障はありませんが、ファイル共有サービスなどの共有資源は、CATVY インターネットに接続されている他のパソコンから共有されるおそれがあります。



次に「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を「OK」ボタンで閉じ、更に「ローカルエリア接続のプロパティ」も「OK」ボタンで閉じてください。



「ローカルエリア接続の状態」の画面に戻りましたら「接続」の部分の「詳細(E)」をクリックし、設定情報の確認をします。

IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 デフォルトゲートウェイ、IPv4 DNS サーバーの項目に入力した各設定項目が正しく表示されているかをご確認ください。

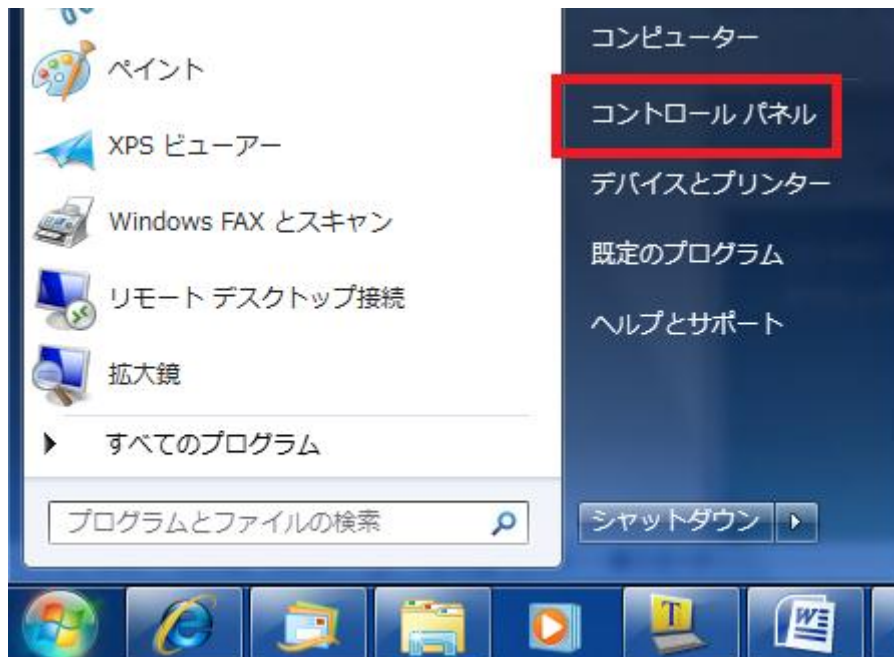
エクストラパックをご利用の場合は、インターネットに接続するパソコンすべてにこの作業を行ってください。設定の中で違いができるのは、各パソコンの I P アドレスだけです。

ここまでが正常に完了したら、接続設定は完了です。ケーブルモデムとパソコンを接続した状態で、インターネットアクセスが可能かお試しください。なおケーブルモデムとパソコンの接続については、第三章をご参考ください。

また、設定完了後もインターネットアクセスができない場合は、パソコン及びモデムの再起動をお試してください。なお、モデムには電源スイッチがございませんので、コンセントを抜いていただきますと、再起動いたします。

Windows 7

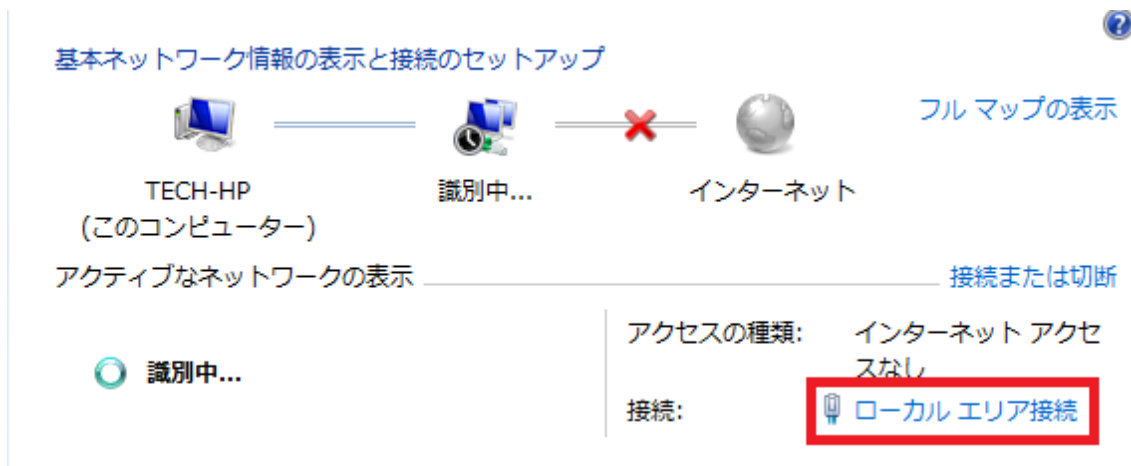
スタートメニューから、コントロールパネルを選択し、開いてください。



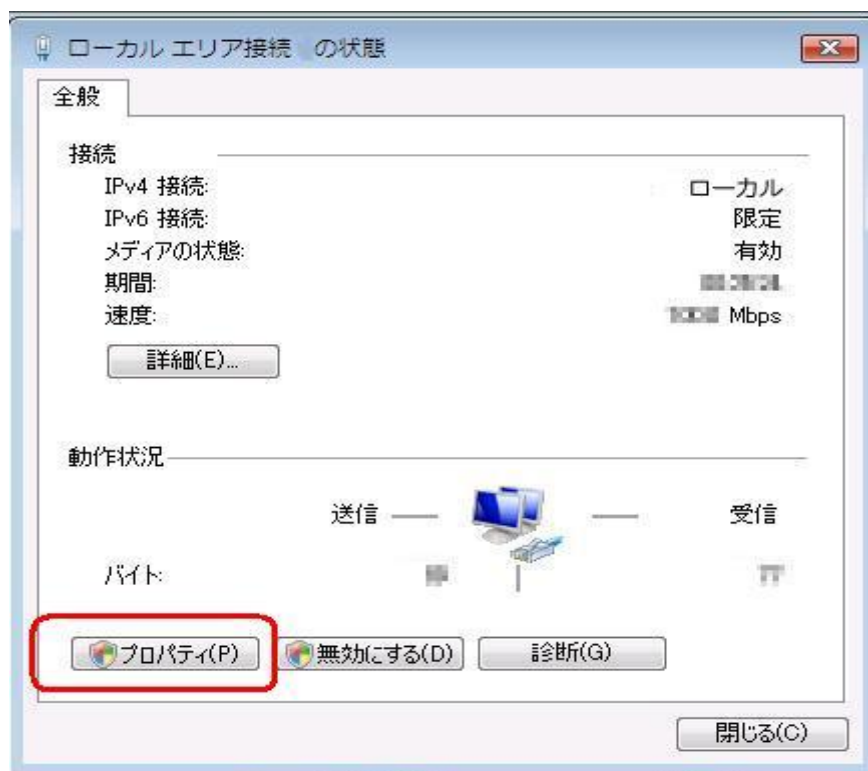
次に、モデムとパソコンがLANケーブルで接続された状態で、「コントロールパネル」内の「ネットワークとインターネット」内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックしてください。



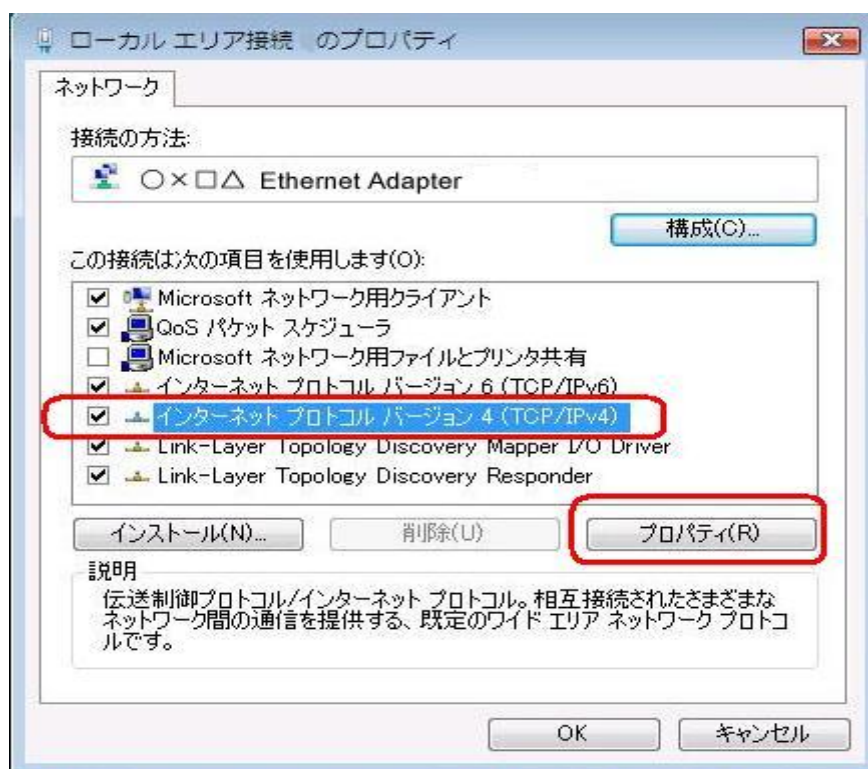
次に「アクティブなネットワークの表示」の右側の「ローカルエリア接続」をクリックします。



「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」ボタンを押してください。



「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示される場合がありますが、「続行」してください。次に、下図の通り「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/Ipv4)」を選択し、右下の「プロパティ」をクリックします。



「インターネットプロトコルバージョン4（TCP／IPv4）のプロパティ」のウィンドウが開きましたら、「次のIPアドレスを使う」にチェックをいれ、「IPアドレス」を別紙パラメータシートか、モデム裏側の「IPアドレス」のシールを参照して入力します。間違いと通信できなくなりますので正確に設定してください。また、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの項目には以下をご指定ください。

IP アドレス：パラメータシートまたは、モデム裏面を参照

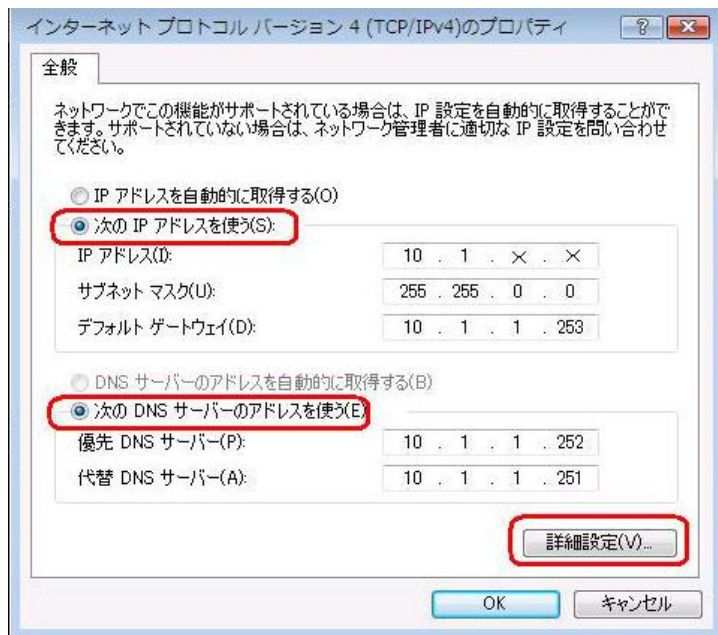
サブネットマスク：**255.255.0.0**

デフォルトゲートウェイ：**10.1.1.253**

次に「次のDNSサーバーのアドレスを使う」にチェックを入れ、以下の内容をご指定ください。

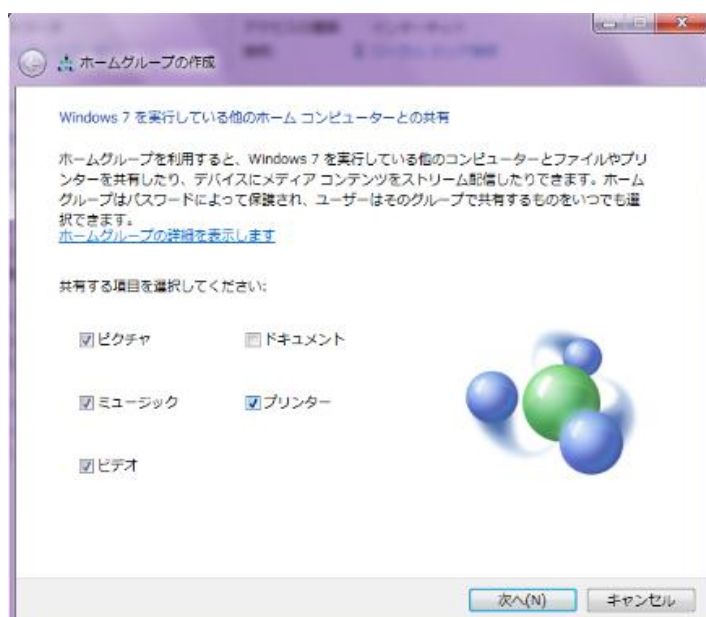
優先DNSサーバーのIPアドレス：**10.1.1.252**

代替DNSサーバーのIPアドレス：**10.1.1.251**



次に同じ画面の「詳細設定」ボタンをクリックし、「TCP/IP 詳細設定」のウィンドウが開きましたら、「WINS」のタブをクリックします。さらに「NetBIOS 設定」の項目で、「NetBIOS over TCP/IP を無効にする」のチェックを入れ、「OK」ボタンを押してください。「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」のチェックでも通信に支障はありませんが、ファイル共有サービスなどの共有資源は、CATVY インターネットに接続されている他のパソコンから共有されるおそれがあります。

次に「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を「OK」ボタンで閉じ、更に「ローカルエリア接続のプロパティ」も「OK」ボタンで閉じてください。



なお、ホームグループの作成という画面が出る場合（前ページの下の図）がございますが、その場合はキャンセルのボタンをクリックしてください。弊社インターネットを利用する上では、特に必要ない項目になります。なお、家庭内で複数のパソコンでネットワークを構築し、ファイルの共有をする場合は、パソコンの取扱説明書をご参照いただき、設定する必要があります。



「ローカルエリアの状態」の画面に戻りましたら「接続」の部分の「詳細(E)」をクリックし、設定情報の確認をします。

IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 デフォルトゲートウェイ、IPv4 DNS サーバーの項目に入力した各設定項目が正しく表示されているかをご確認ください。

エキストラパックをご利用の場合は、インターネットに接続するパソコンすべてにこの作業を行ってください。設定の中で違いがでるのは、各パソコンのIPアドレスだけです。

ここまですべて正常に完了したら、接続設定は完了です。ケーブルモデムとパソコンを接続した状態で、インターネットアクセスが可能かお試しください。なおケーブルモデムとパソコンの接続については、第三章をご参考ください。

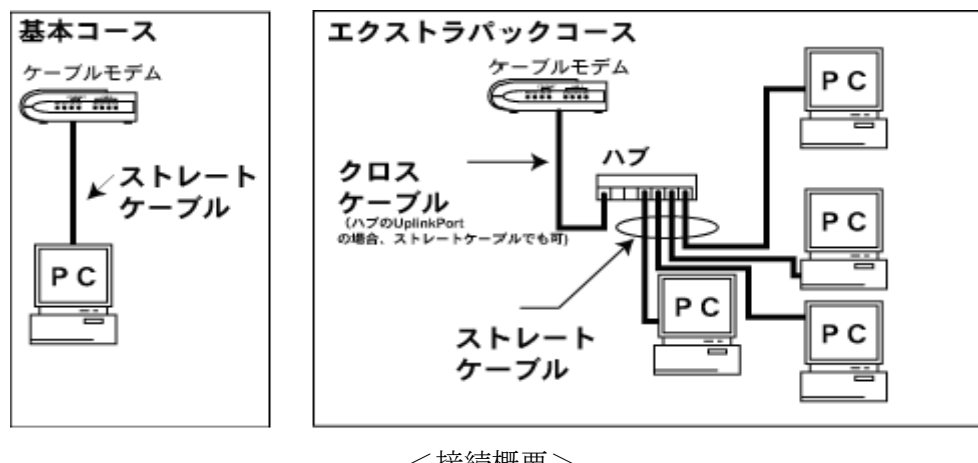
また、設定完了後もインターネットアクセスができない場合は、パソコン及びモデムの再起動をお試しください。なお、モデムには電源スイッチがございませんので、コンセントを抜いていただきますと、再起動いたします。

第三章 モデムの動作確認と接続方法

モデムはCATV網とパソコンの仲介をします。モデムは、電源の投入後、パソコンのイーサネットアダプタがもつMACアドレスと呼ばれる内部番号を記憶します。基本サービスでは、初めて接続されたイーサネットアダプタのMACアドレスを、エクストラパック(モデム1台に対しハブ経由で複数台のパソコン接続をサポート)、SOHO サービスでは、所定の台数分、イーサネットアダプタのMACアドレスを記憶します。そのため、モデムに接続されている機器が変わる際は、一度モデムの電源を落とす必要があります。モデムには電源スイッチがありませんので、コンセントを差し込むことにより電源を投入することになります。

また電源投入後、稼動状態になるまで多少時間がかかりますのでコンセントを抜かないでください。電源投入後は、モデムのLED(ランプ)の点灯・点滅が変動します。万が一、時間が経ってもモデムが稼動状態にならない場合は電源を切り再度電源を投入してください。

モデムとパソコンは、LANケーブルで接続します。基本サービスでは、モデムとパソコン間をイーサネットストレートケーブルで接続します。エクストラパックコースでは、ハブという機器をご用意いただいた上で、モデムとハブ間はイーサネットクロスケーブル(ハブにカスケードポートがある場合はストレートケーブルも可能)、ハブから各パソコンへはイーサネットストレートケーブルで接続します。(ハブはお客様にてご用意ください。パソコンショップ等で購入できます。)

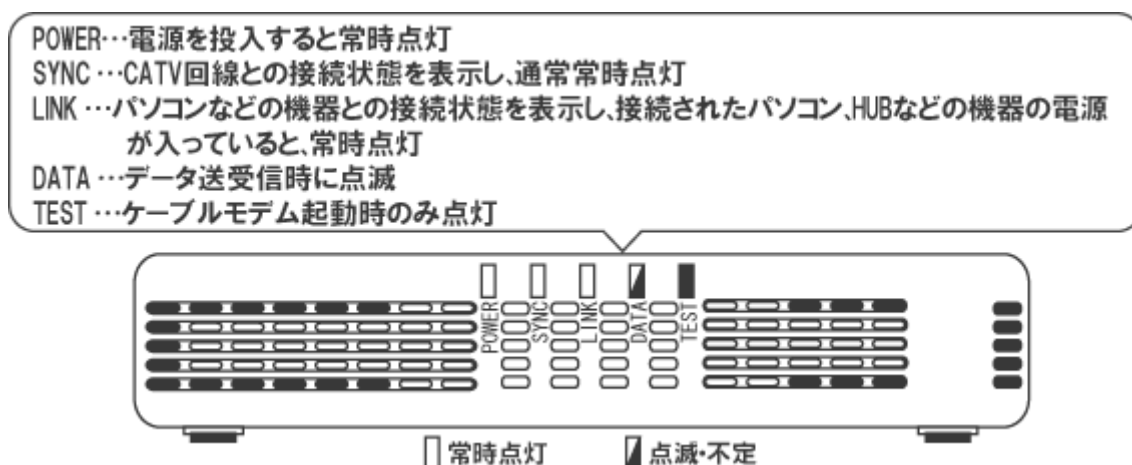


<接続概要>

モデムはインターネットを利用していないときも、モデム制御情報を当局側と交信しており、障害状況の確認や管理ソフトウェアの更新を行っております。お客様の都合で一時的に電源を切るとはかまいませんが、原則的にはモデムの電源は常に投入しておくようお願いいたします。モデムの電源を切った場合、モデムが再起動し、正常動作を始めるまで、多少時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。また同軸ケーブルはモデムから絶対に外さないでください。

・CMA-100/200タイプモデム（グレー／シルバー色・プラスチック製）

モデムが稼動状態かどうかの判断は、モデム前面の「POWER」ランプおよび、「SYNC」ランプが定常点灯していることで判断します。（モデムのランプが正常稼動しない場合はページ後半の（備考）を参照ください。）



モデムとパソコンをLANケーブルで接続したら、パソコンの電源が投入された状態で、「LINK」ランプ、「DATA」ランプを確認してください。「LINK」ランプが定常点灯、「DATA」ランプが点滅している状態が正常です。

「LINK」ランプが消えているようでしたら、モデムはパソコンのイーサネットアダプタを認識できていません。LANケーブルやイーサネットアダプタがきちんと装着されているか、または、接続概要をご覧の上、LANケーブルのストレート・クロスを正しく使われているかご確認ください。

なお、USBポートは、弊社ではサポートしておりませんのでお使いいただけません。ご了承ください。

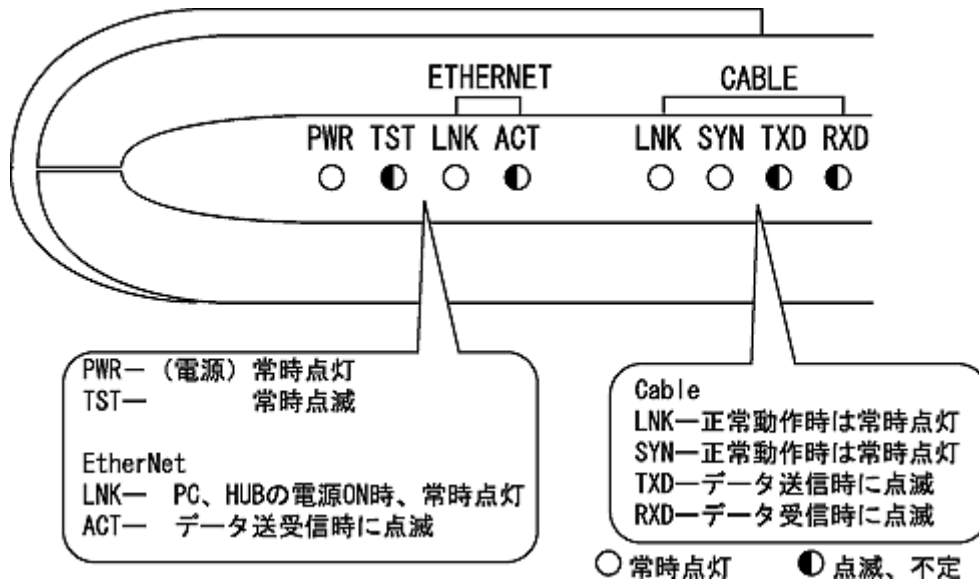
（備考）

ごくまれに、モデムが、正常に動作しなくなる場合があります。そういった状態では、通信レスポンスが極端に低下したり、「SYNK」が消灯、あるいは点滅するなどの症状が現れます。そのような場合、パソコンの電源は入ったままで結構ですので、以下の試行をして下さい。

電源コンセントの抜き差しによりモデムの電源を切り再度電源を投入して、5分ほど待つ。上記の試行で、モデムが復旧しない場合は弊社にご一報ください。

・ CME032 (CME030) タイプモデム (黒/シルバー色・プラスチック製)

モデムが稼動状態かどうかの判断は、モデム前面の PWR ランプおよび、「CABLE」とあるカテゴリの LNK および SYN の 2 つのランプが定常点灯していることで判断します。(モデムのランプが正常稼動しない場合はページ後半の(備考)を参照ください。)



モデムとパソコンをLANケーブルで接続したら、パソコンの電源が投入された状態で、「ETHERNET」とあるカテゴリの LNK ランプを確認してください。

ランプが消えているようでしたら、モデムはパソコンのイーサネットアダプタを認識できていません。LANケーブルやイーサネットアダプタがきちんと装着されているか、または、接続概要をご覧の上、LANケーブルのストレート・クロスを正しく使われているかご確認ください。

(備考)

ごくまれに、モデムが、正常に動作しなくなる場合があります。そういった状態では、通信レスポンスが極端に低下したり、「CABLE」カテゴリの LNK や SYN が消灯、あるいは点滅するなどの症状が現れます。そのような場合、パソコンの電源は入ったままで結構ですので、以下の試行をして下さい。

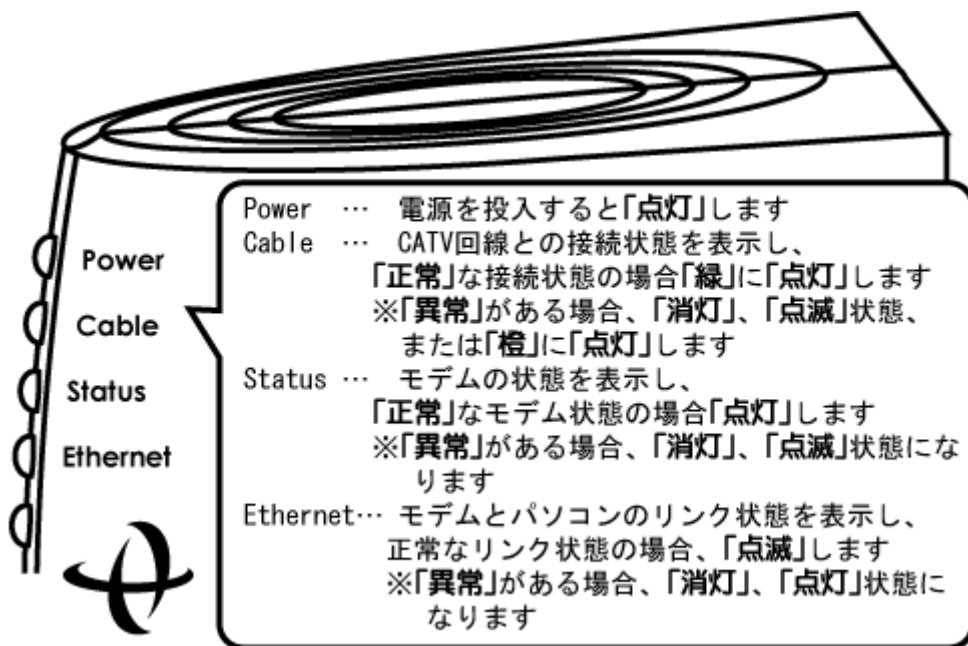
1. モデムの電源を切り再度電源を投入して、5分ほど待つ。
 2. 1.で復旧しない場合、モデムの後ろ側の「RST」という小さなボタンをモデムの電源が入った状態で、ペン先などで10秒程度押して20分ほど待つ。
- 上記の試行で、モデムが復旧しない場合は弊社にご一報ください。

・BRG-35202Jタイプモデム（ダークグレー色・プラスチック製）

モデムが稼動状態かどうかの判断は、モデムの「Power」ランプ、「Cable」ランプ、「Status」ランプが「緑」に定常点灯していることで判断します。

次にモデムとパソコンをLANケーブルで接続したら、パソコンの電源が投入された状態で、「Ethernet」ランプを確認してください。「Ethernet」ランプが「点滅」している状態が正常です。詳細は下図をご参照ください。

（モデムのランプが正常稼動しない場合はページ後半の（備考）を参照ください。）



「Ethernet」ランプが消えているようでしたら、モデムはパソコンのイーサネットアダプタを認識できていません。LANケーブルやイーサネットアダプタがきちんと装着されているか、または、接続概要をご覧の上、LANケーブルのストレート・クロスを正しく使われているかご確認ください。

（備考）

ごくまれに、モデムが、正常に動作しなくなる場合があります。そういった状態では、通信レスポンスが極端に低下したり、「Cable」ランプは消灯、点滅、「緑」ではなく「橙」に点灯。「Status」ランプが消灯、点滅。「Ethernet」ランプが「点滅」ではなく「点灯」状態になるといった症状が現れます。そのような場合、パソコンの電源は入ったままで結構ですので、以下の試行をして下さい。

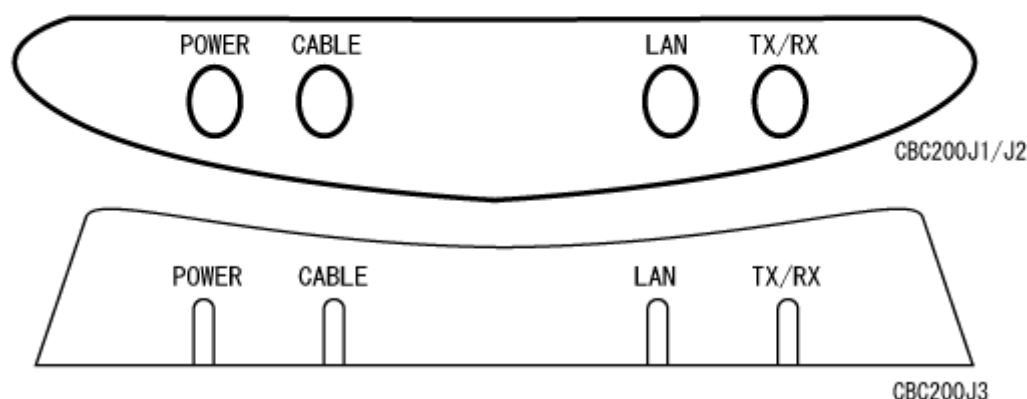
電源コンセントの抜き差しによりモデムの電源を切り再度電源を投入して、5分ほど待つ。
上記の試行で、モデムが復旧しない場合は弊社にご一報ください。

・CBC200J・200J2・200J3（ダークグレー色・プラスチック製）

モデムが稼動状態かどうかの判断は、モデム前面の「POWER」ランプおよび、「CABLE」ランプが定常点灯していることで判断します。

（モデムのランプが正常稼動しない場合はページ後半の（備考）を参照ください。）

POWER …電源を投入すると常時点灯
CABLE …CATV回線との接続状態を表示し、通常常時点灯
LAN …パソコンなどの機器との接続状態を表示し、接続されたパソコン、
HUBなどの機器の電源が入っていると、常時点灯
TX/RX …データ送受信時に点滅（通常は、常に点滅状態）



モデムとパソコンをLANケーブルで接続したら、パソコンの電源が投入された状態で、「LAN」ランプ、「TX/RX」ランプを確認してください。「LAN」ランプが定常点灯、「TX/RX」ランプが点滅している状態が正常です。

「LAN」ランプが消えているようでしたら、モデムはパソコンのイーサネットアダプタを認識できていません。LANケーブルやイーサネットアダプタがきちんと装着されているか、または、概要をご覧の上、LANケーブルのストレート・クロスを正しく使われているかご確認ください。

（備考）

ごくまれに、モデムが、正常に動作しなくなる場合があります。そういった状態では、通信レスポンスが極端に低下したり、「CABLE」が消灯、あるいは点滅するなどの症状が現れます。そのような場合、パソコンの電源は入ったままで結構ですので、以下の試行をして下さい。

電源コンセントの抜き差しによりモデムの電源を切り再度電源を投入して、5分ほど待つ。
上記の試行で、モデムが復旧しない場合は弊社にご一報ください。

第四章 メールの設定

メールの設定は、メールのユーザーアカウントやパスワードなど、お客様の固有の情報が必要になります。別途資料の「パラメータシート」をご参照ください。

※新規加入のお客様に関しましては、工事が完了してから、パラメータシートがお客様のもとに郵送されるまで若干のお時間をいただいております。ご了承ください。

<メール設定情報>

・ユーザーアカウント	: パラメータシートに記載
・パスワード	: パラメータシートに記載 (アルファベットの大/小文字は区別します)
・受信メールサーバー (POP3)	: pop.ma.catvy.ne.jp
・送信メールサーバー (SMTP)	: smtp.ma.catvy.ne.jp
・メールアドレス	: パラメータシートに記載 (“ユーザーアカウント “@ma.catvy.ne.jp” という書式)

※パスワードは他人に知られることのないように十分注意してください。

この章では、お使いのメールソフト別に設定方法を説明しております。

・ Outlook Express5.x、6.x をお使いの方は、→ 31 ページ

・ windows メール (windows Vista) をお使いの方は、→ 37 ページ

・ outlook2007 をお使いの方は、→ 44 ページ

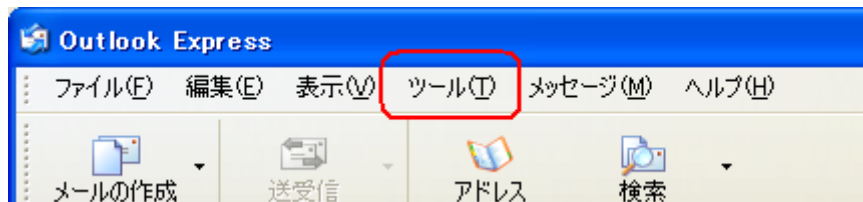
・ Windows live メールをお使いの方は、→ 47 ページ

をご参照ください。

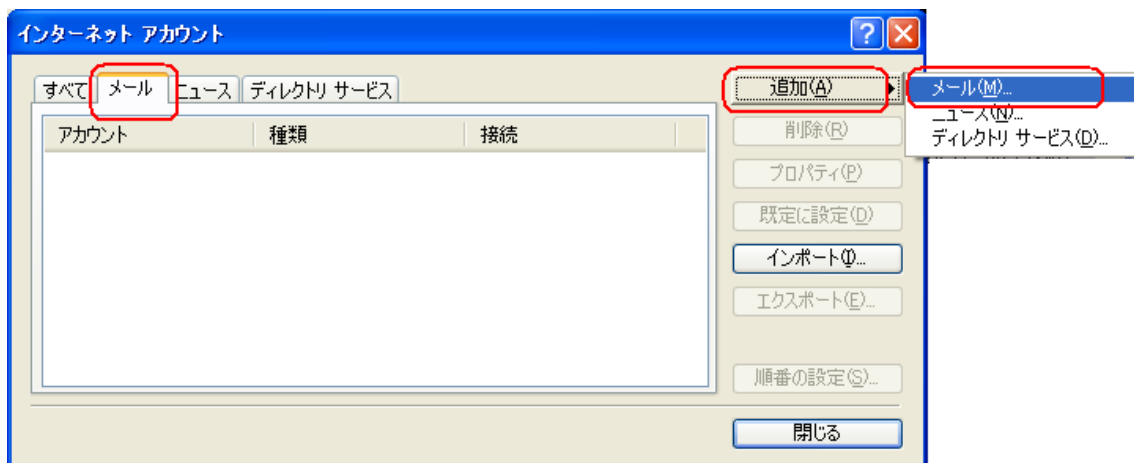
それ以外のメールソフトをお使いの方につきましては、メールソフトのマニュアルをご参照ください。

Outlook Express 5.x-6.x (アウトルックエクスプレス 5.x-6.x)

アウトルックエクスプレスを立ち上げ、メニューの「ツール」から、「アカウント」を選択してください。



下図のウィンドウがあらわれますので、メールのタブを選択し、追加→メールを選んでください。インターネット接続ウィザードが立ち上がります。



下図では、送信者表示名を、自由に設定します。図では「山形 太郎」となっていますが、アルファベット表記でもかまいません。またこの項目は必ずしも氏名である必要はございませんので好きなものを任意に入力し、終わりましたら、「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'インターネット接続ウィザード' (Internet Connection Wizard) dialog box. The title bar is blue with a close button. The main area has a light beige background. At the top, the title '名前' (Name) is displayed. Below it, a message reads: '電子メールを送信するときに、名前が[送信者]のフィールドに表示されます。表示する名前を入力してください。' (When sending email, the name will be displayed in the [Sender] field. Please enter the name to be displayed). The label '表示名(D):' (Display Name) is followed by a text input field containing '山形 太郎' (Yamagata Taro), which is highlighted with a red rectangle. Below the input field, an example is shown: '例: Taro Chofu'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a yellow border.

次に、「電子メールアドレスを「パラメータシート」を参照し、半角で入力してください。お客様のアドレスは「〇〇@ma.catvy.ne.jp」(〇〇部分はユーザーアカウント)となります。終わりましたら「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'インターネット接続ウィザード' (Internet Connection Wizard) dialog box. The title bar is blue with a close button. The main area has a light beige background. At the top, the title 'インターネット電子メール アドレス' (Internet Email Address) is displayed. Below it, a message reads: '電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。' (The email address is used by other users to send you email). The label '電子メール アドレス(E):' (Email Address) is followed by a text input field containing '〇〇@ma.catvy.ne.jp', which is highlighted with a red rectangle. Below the input field, an example is shown: '例: t-chofu@microsoft.com'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

下図では「受信メールのサーバーの種類」が「POP3」になっていることを確認し、「受信メールサーバー」に「pop.ma.catvy.ne.jp」、「送信メールサーバー」に「smtp.ma.catvy.ne.jp」と半角で入力してください。終わりましたら「次へ」をクリックしてください。

インターネット 接続ウィザード

電子メール サーバー名

受信メール サーバーの種類(S) POP3

受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー(Q):
pop.ma.catvy.ne.jp

SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。
送信メール (SMTP) サーバー(Q):
smtp.ma.catvy.ne.jp

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

下図では、ユーザーアカウント（図例では〇〇となっています）とパスワードを入力します。これらは「パラメータシート」に記載されていますので、確認して半角で正確に入力してください。パスワードはアルファベットの大文字と小文字を区別して入力してください。（「Shift」キーを押しながら入力しますと通常小文字の場合、大文字入力となります。）パスワードは欄上では*でマスクされます。入力しましたら「パスワードを保存する」のチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

※最下段の「セキュリティで保護されたパスワード認証を使用する」はチェックを入れないでください。

インターネット 接続ウィザード

インターネット メール ログイン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

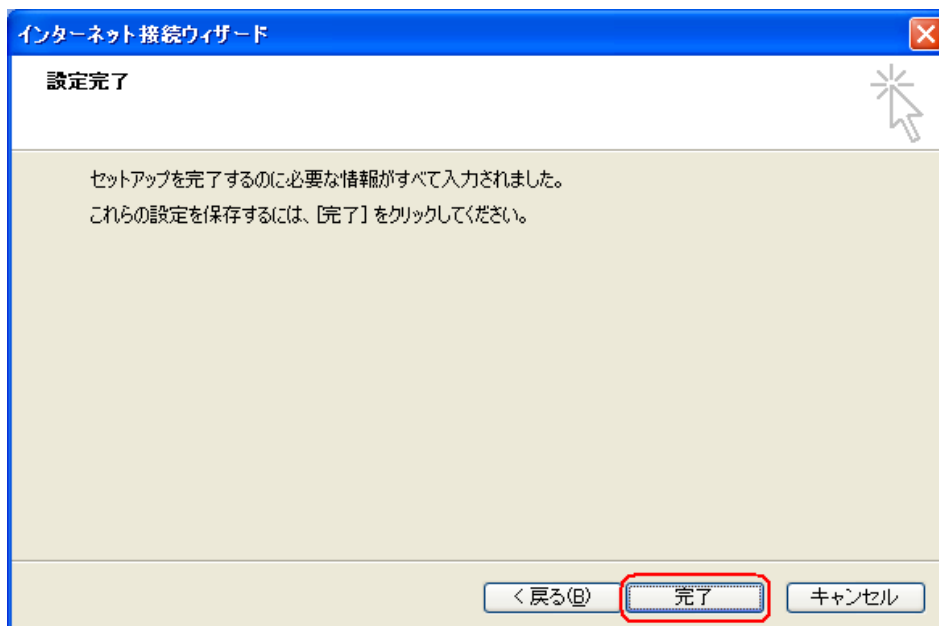
アカウント名(A): 〇〇

パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(W)

メール アカウントにアクセスするときに、インターネット サービス プロバイダがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は [セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する] をオンにしてください。
☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

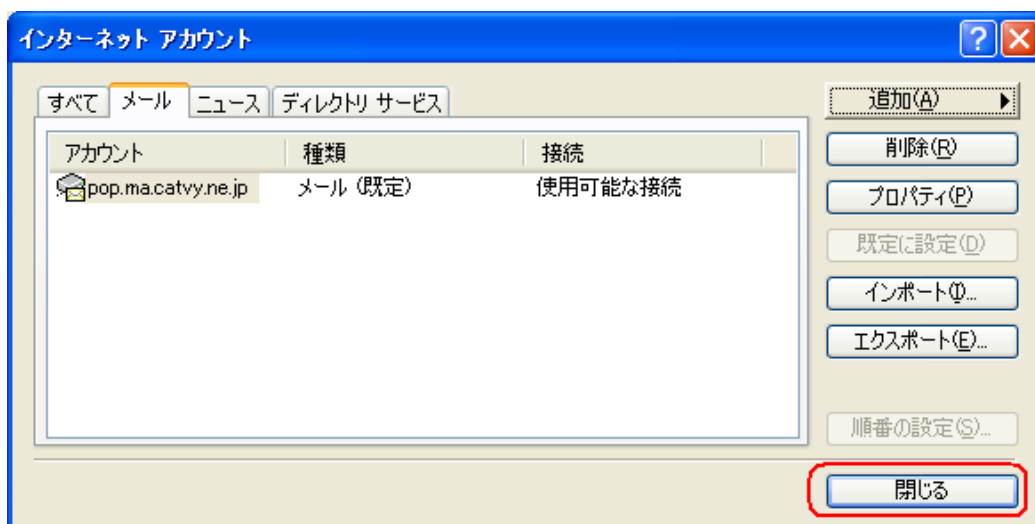
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

下図の画面がでましたら、「完了」をクリックして終了してください。



インターネット接続ウィザードが終了しますと、「インターネットアカウント」の画面に戻ります。下図のようになっていれば登録は完了しています。「閉じる」をクリックしてください。

以上でメールの登録作業はすべて終了です。

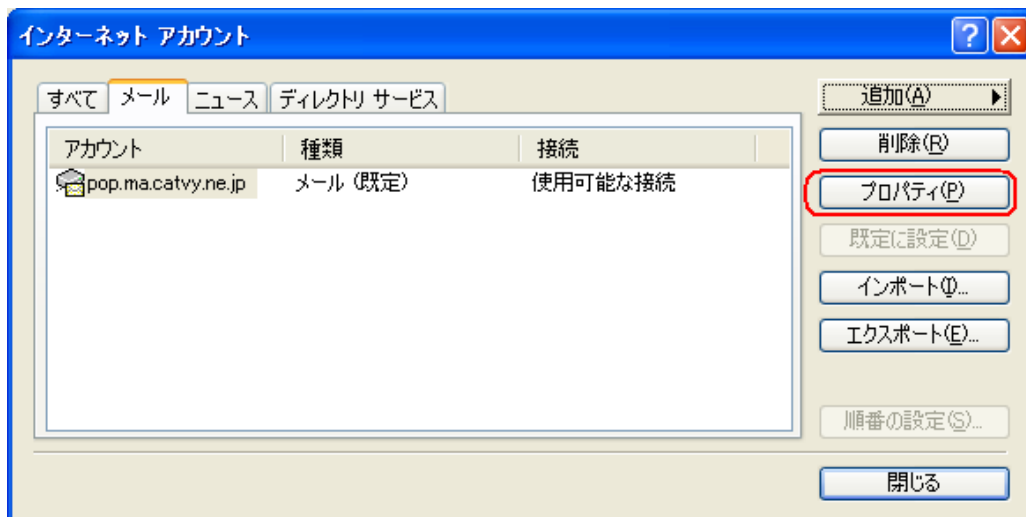


<設定内容の確認>

※メール送受信の際エラーが発生する場合や、設定項目を訂正したい場合はご参照ください。

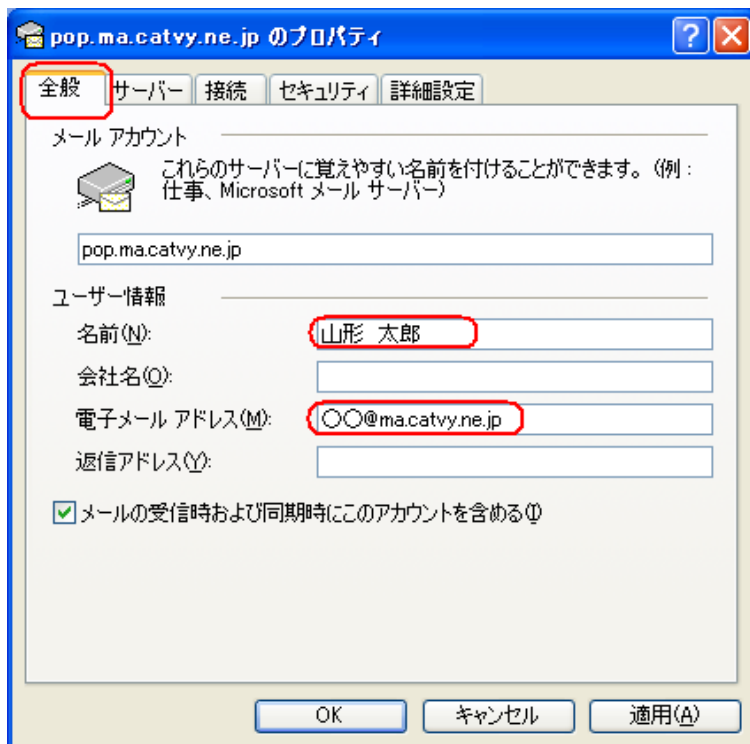
Outlook Express の「ツール」メニューから「アカウント」を選択してください。

下図の「インターネット アカウント」ウィンドウが出ますので、項目を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



プロパティが出ましたら下図のように「全般」のタブをクリックし、「ユーザー情報」の「名前」、「電子メールアドレス」が正しく入力されているか確認します。「名前」は任意のものに変更可能です。

メールアドレス : パラメータシートに記載 (“ユーザーアカウント “@ma.catvy.ne.jp” という書式)



次に「サーバー」のタブをクリックし、「サーバー情報」項目の「受信メールサーバーの種類」、「受信メール（POP3）」「送信メール（SMTP）」のアドレスを確認してください。

「受信メールサーバー」項目の「アカウント名」、「パスワード」を確認してください。
「セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする」の項目のチェックはしないでください。

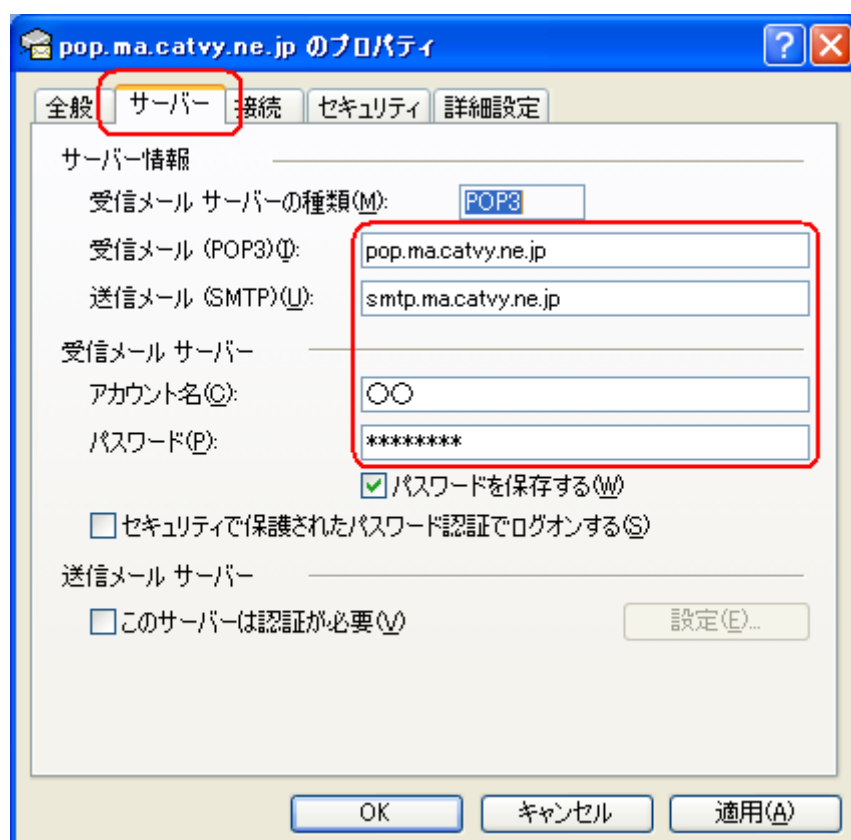
「送信メールサーバー」項目の「このサーバーは認証が必要」の項目のチェックはしないでください。

受信メールサーバー（POP3）： pop.ma.catvy.ne.jp

送信メールサーバー（SMTP）： smtp.ma.catvy.ne.jp

アカウント名：パラメータシートに記載（ユーザーアカウント）

パスワード：パラメータシートに記載（アルファベットの大／小文字は区別します）

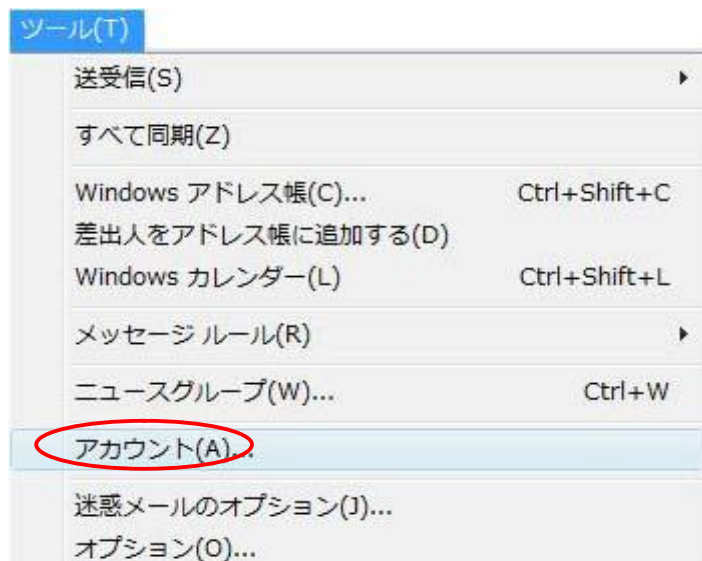


Windows メール (windows Vista)

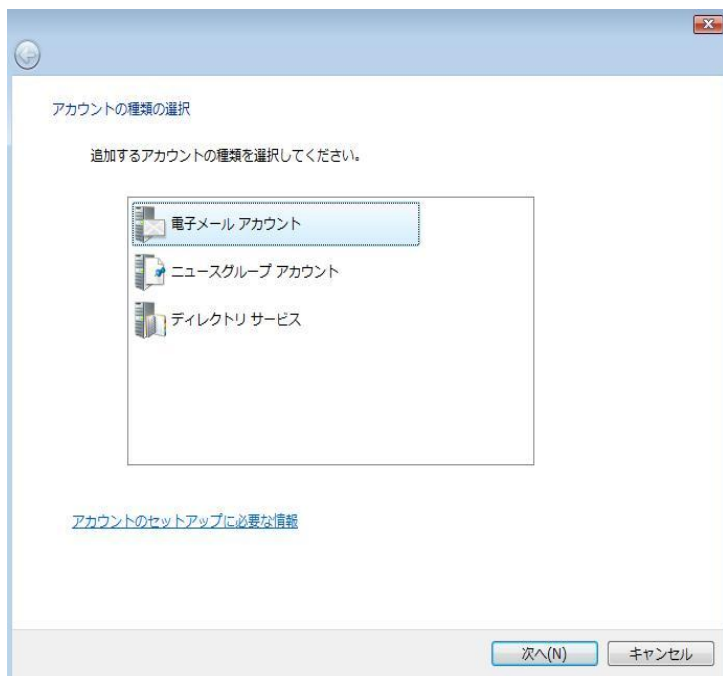
スタートボタンより電子メール (Windows メール) を立ち上げてください。



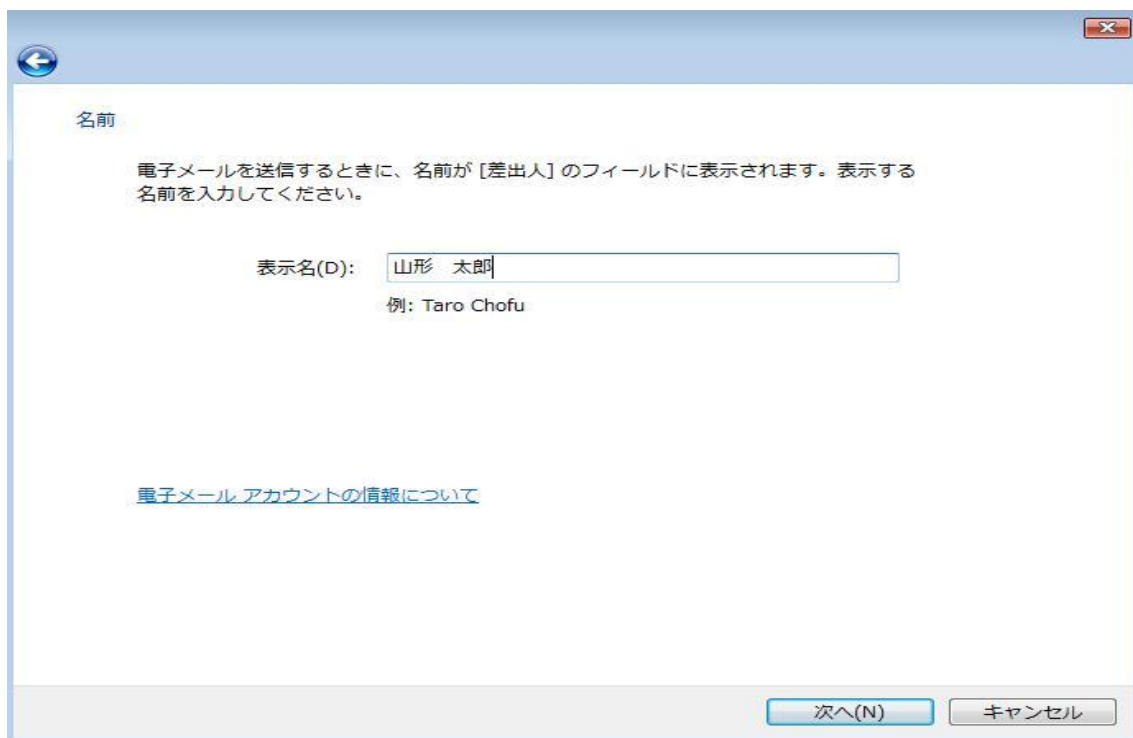
メニューバーより「ツール」を選び、「アカウント」を選択します。



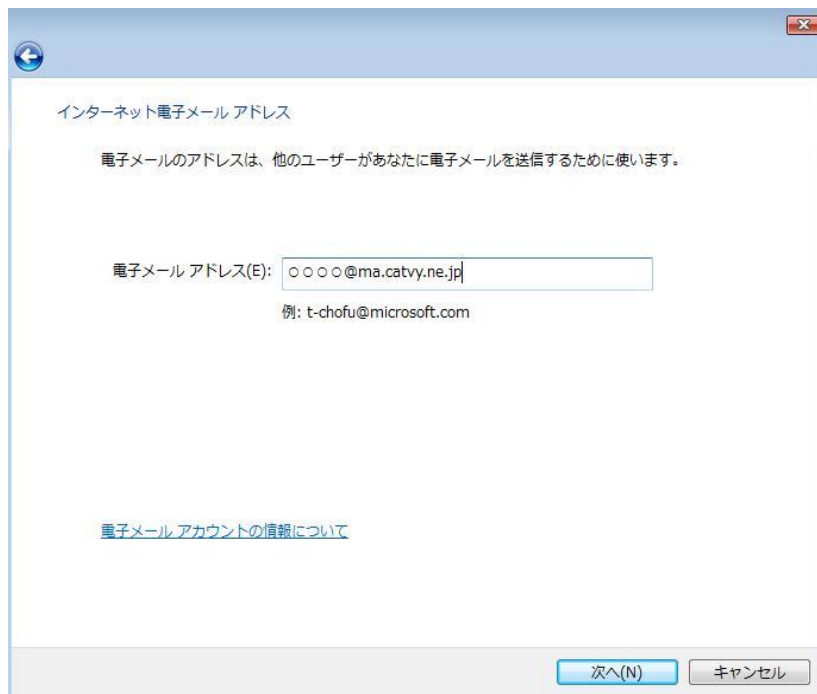
「インターネットアカウント」の画面右側の「追加」を選択し、下図の画面で「電子メールアカウント」が選ばれている状態にし、「次へ」をクリックします。



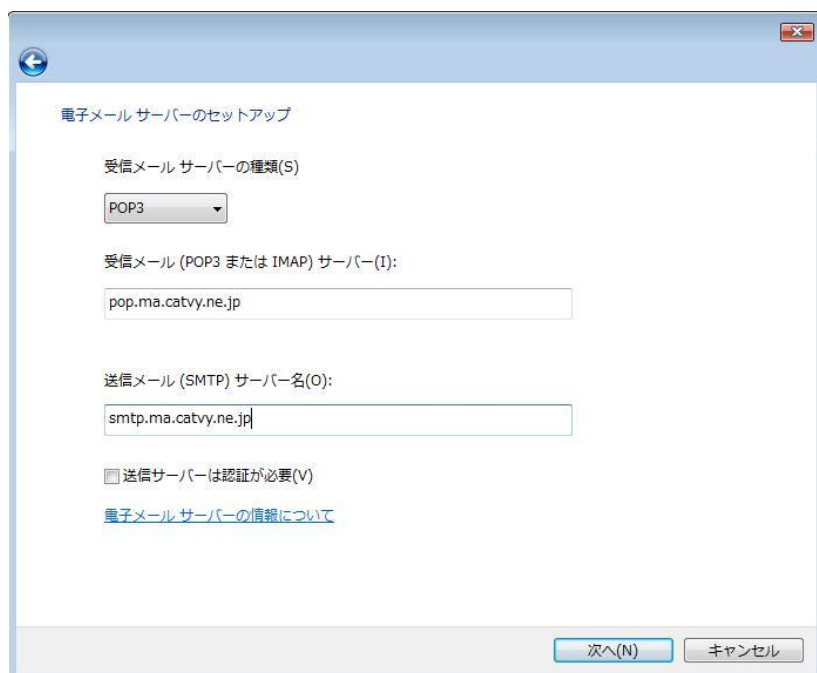
次に、送信者の表示名を自由に設定します。ここでは「山形 太郎」となっていますが、アルファベット表記でもかまいません。またこの項目は必ずしも氏名である必要はございませんので好きなものを任意に入力し、終わりましたら、「次へ」をクリックします。



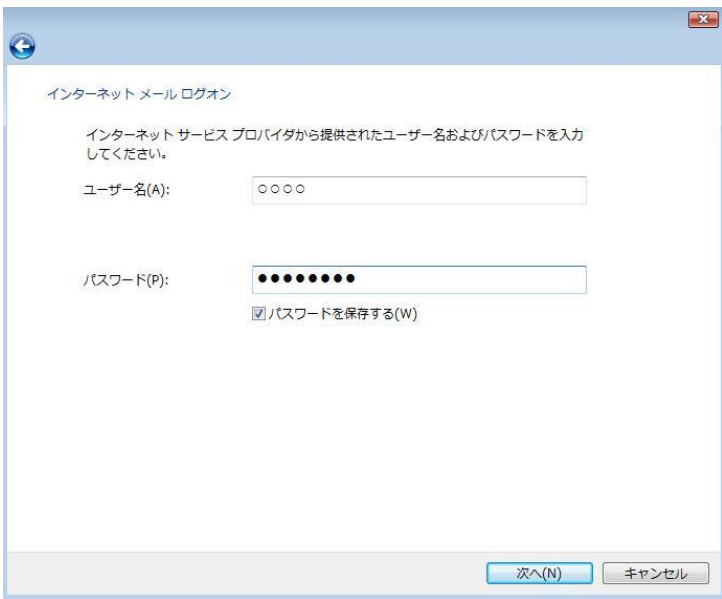
次に、電子メールアドレスを「パラメータシート」を参照し、半角で入力してください。
お客様のアドレスは「〇〇〇〇@ma.catvy.ne.jp」（〇〇部分はユーザーアカウント）となります。終わりましたら「次へ」をクリックします。



次に、「受信メールのサーバーの種類」が「POP 3」になっていることを確認し、「受信メールサーバー」の欄に「pop.ma.catvy.ne.jp」、「送信メールサーバー」の欄に「smtp.ma.catvy.ne.jp」と半角で入力してください。終わりましたら「次へ」をクリックしてください。



次に、ユーザーアカウント（図例では〇〇〇〇となっています）とパスワードを入力します。これらは「パラメータシート」に記載されていますので、確認して半角で正確に入力してください。パスワードはアルファベットの大文字と小文字を区別して入力してください。（「Shift」キーを押しながら入力しますと通常小文字の場合、大文字入力となります。）パスワードは欄上では●でマスクされます。入力したら「パスワードを保存する」のチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



インターネット メール ログオン

インターネット サービス プロバイダから提供されたユーザー名およびパスワードを入力してください。

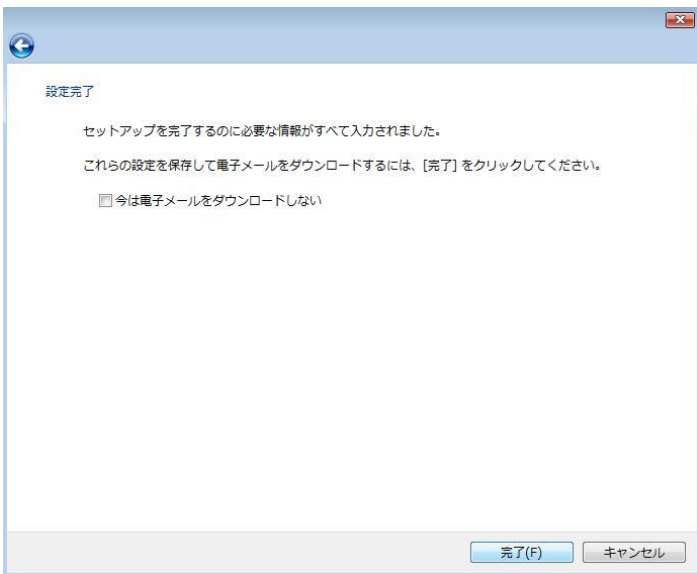
ユーザー名(A):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(W)

次へ(N) キャンセル

「設定完了」の画面がでましたら、「完了」をクリックして終了してください。なお、「完了」をクリックした時点でメールの送受信を行いますので、すぐにメールの受信を行いたくない場合は「今は電子メールをダウンロードしない」にチェックを入れてから「完了」をクリックしてください。



設定完了

セットアップを完了するのに必要な情報がすべて入力されました。

これらの設定を保存して電子メールをダウンロードするには、[完了]をクリックしてください。

☐ 今は電子メールをダウンロードしない

完了(F) キャンセル

全ての設定が終了しますと、「インターネットアカウント」の画面に戻ります。「メール」の部分に、「pop.ma.catvy.ne.jp」という表記になっていれば登録は完了しています。右下の「閉じる」をクリックしてください。

以上でメールの登録作業はすべて終了です。

<設定内容の確認>

Windows メールメニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択してください。

「インターネットアカウント」ウィンドウが出ますので、「pop.ma.catvy.ne.jp」が選択されている状態で右側の項目の「プロパティ」をクリックしてください。

プロパティが出ましたら下図のように「全般」のタブをクリックし、「ユーザー情報」の「名前」、「電子メールアドレス」が正しく入力されているか確認します。「名前」は任意のものに変更可能です。

メールアドレス：パラメータシートに記載（“ユーザーアカウント”@ma.catvy.ne.jp という書式）

pop.ma.catvy.ne.jp プロパティ

全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定

メール アカウント

これらのサーバーに覚えやすい名前をつけてください
(例: 仕事、Windows メール)。

pop.ma.catvy.ne.jp

ユーザー情報

名前(N): 山形 太郎

会社(O):

電子メールアドレス(M): ○○○○@ma.catvy.ne.jp

返信アドレス(Y):

☒ メールを受信時および同期時にこのアカウントを含める(I)

OK キャンセル 適用(A)

次に「サーバー」のタブをクリックし、「サーバー情報」項目の「受信メールサーバーの種類」、「受信メール（POP3）」「送信メール（SMTP）」のアドレスを確認してください。

「受信メールサーバー」項目の「アカウント名」、「パスワード」を確認してください。

「セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする」の項目のチェックはしない
でください。

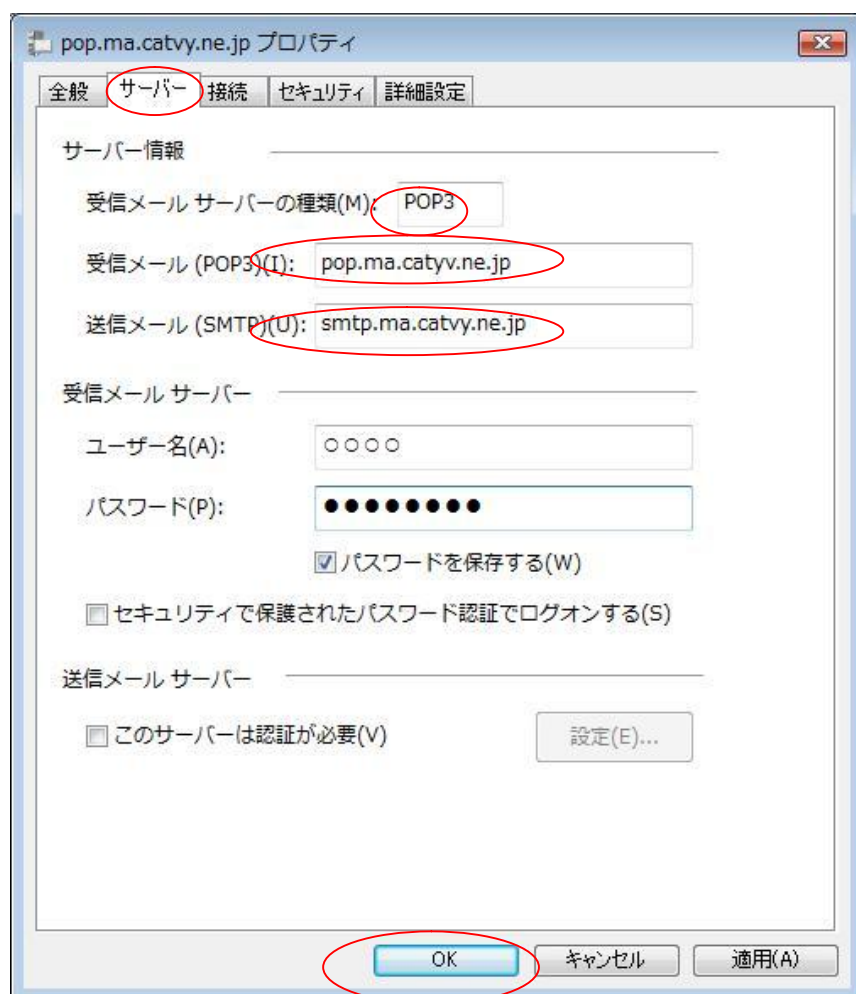
「送信メールサーバー」項目の「このサーバーは認証が必要」の項目にチェックはしない
でください。

受信メールサーバー（POP3）： pop.ma.catvy.ne.jp

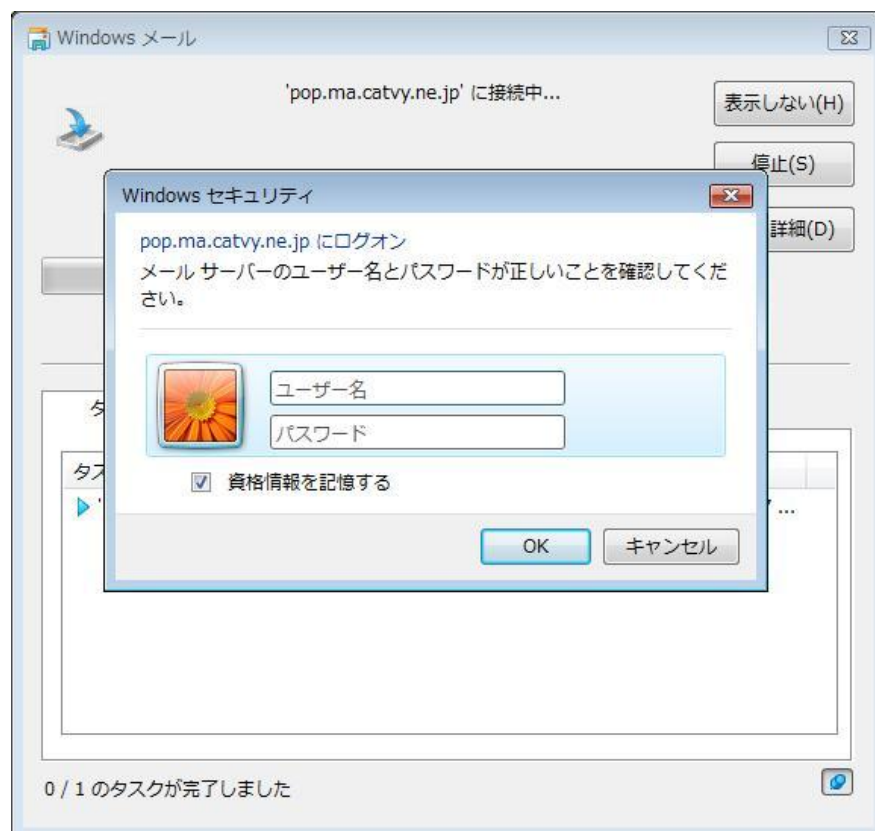
送信メールサーバー（SMTP）： smtp.ma.catvy.ne.jp

ユーザー名：パラメータシートに記載（ユーザーアカウント）

パスワード：パラメータシートに記載（アルファベットの大／小文字は区別します）

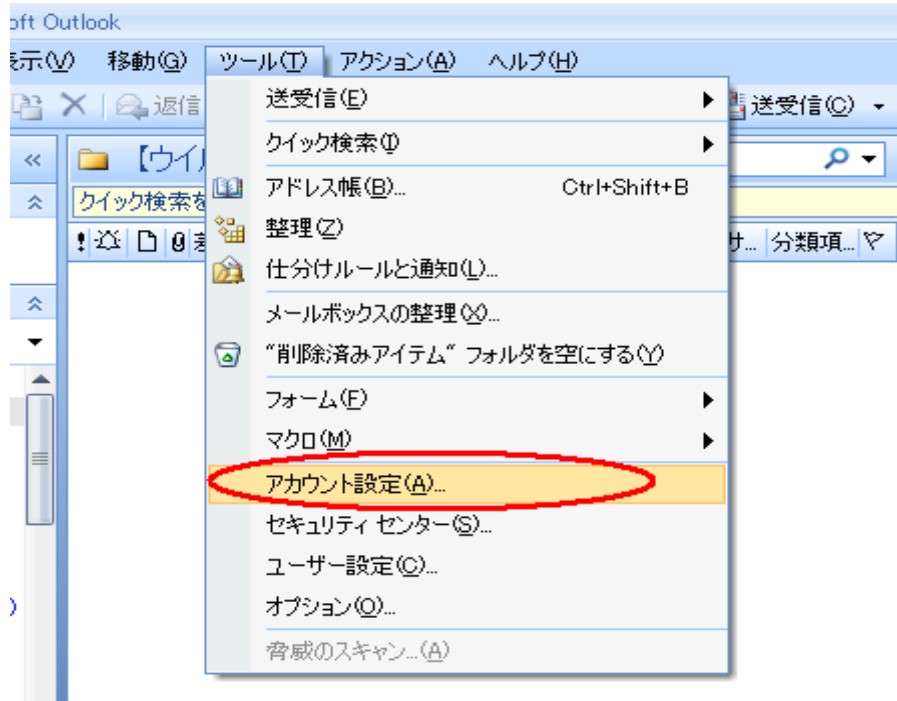


なお、次のようなエラーが出る場合は、アカウント名・パスワードを間違えて設定してある可能性があります。再度、パラメータシートを参照の上、設定してください。

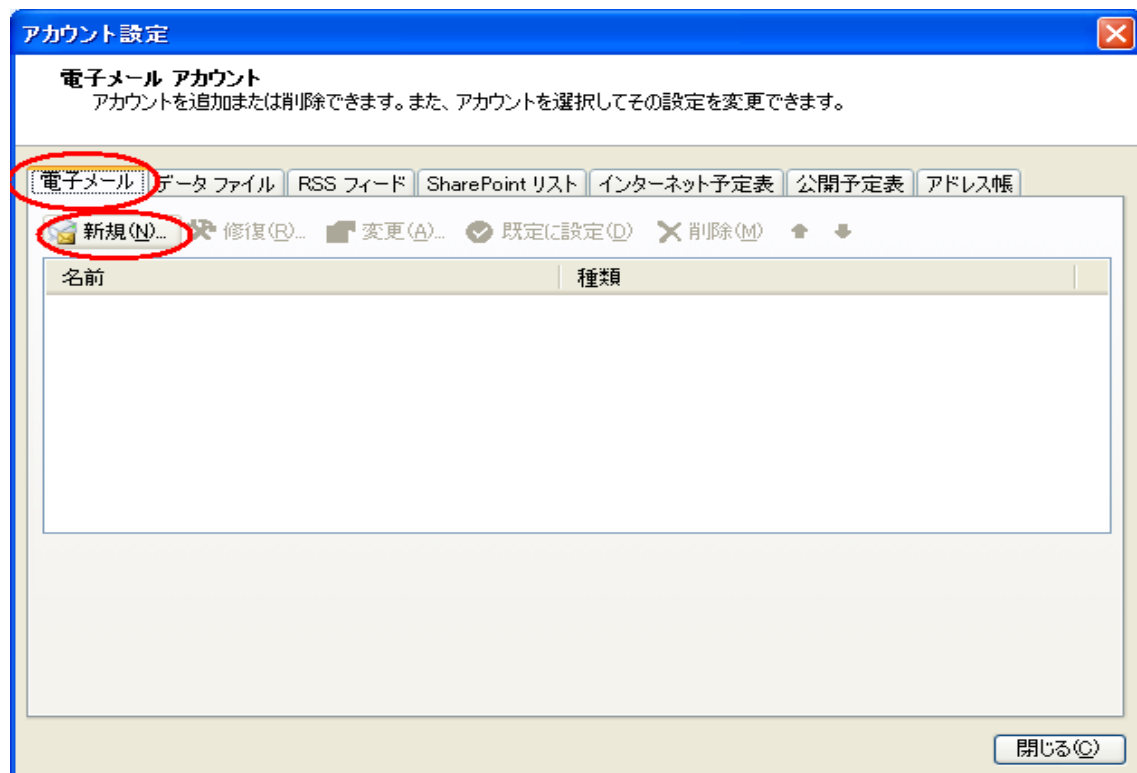


Outlook 2007

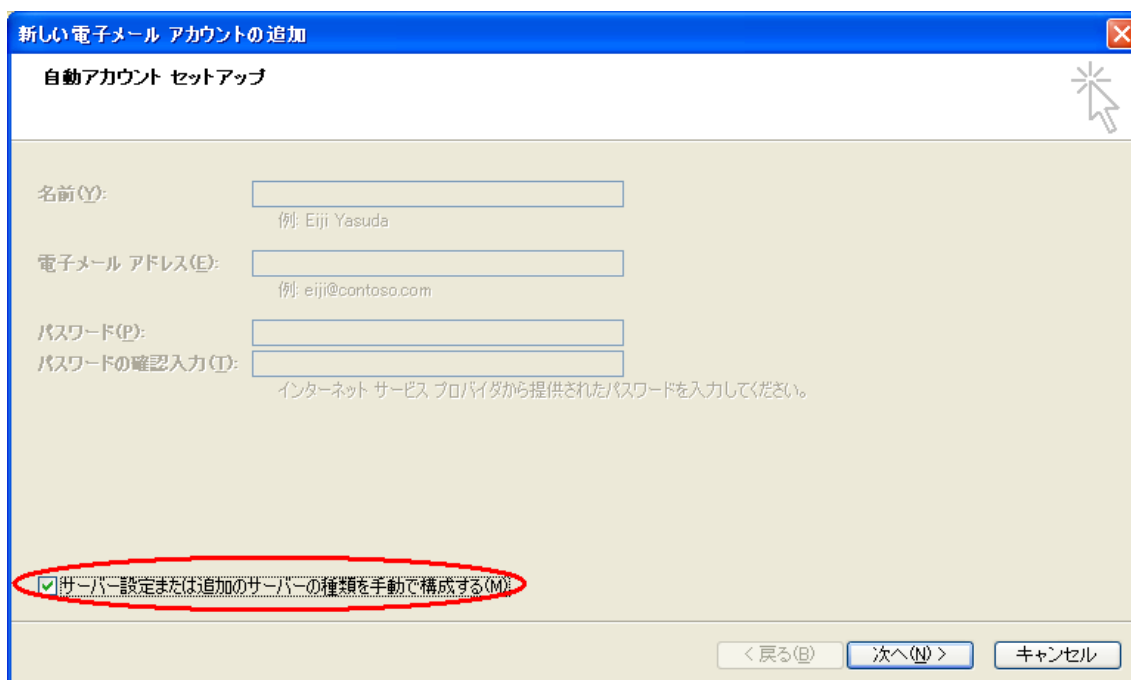
Outlook 2007 を起動し、メニューバーより「ツール」から「アカウント設定」を選択します。



「電子メールアカウント」の画面の「新規」を選択します。



次に、「サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する。」のチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

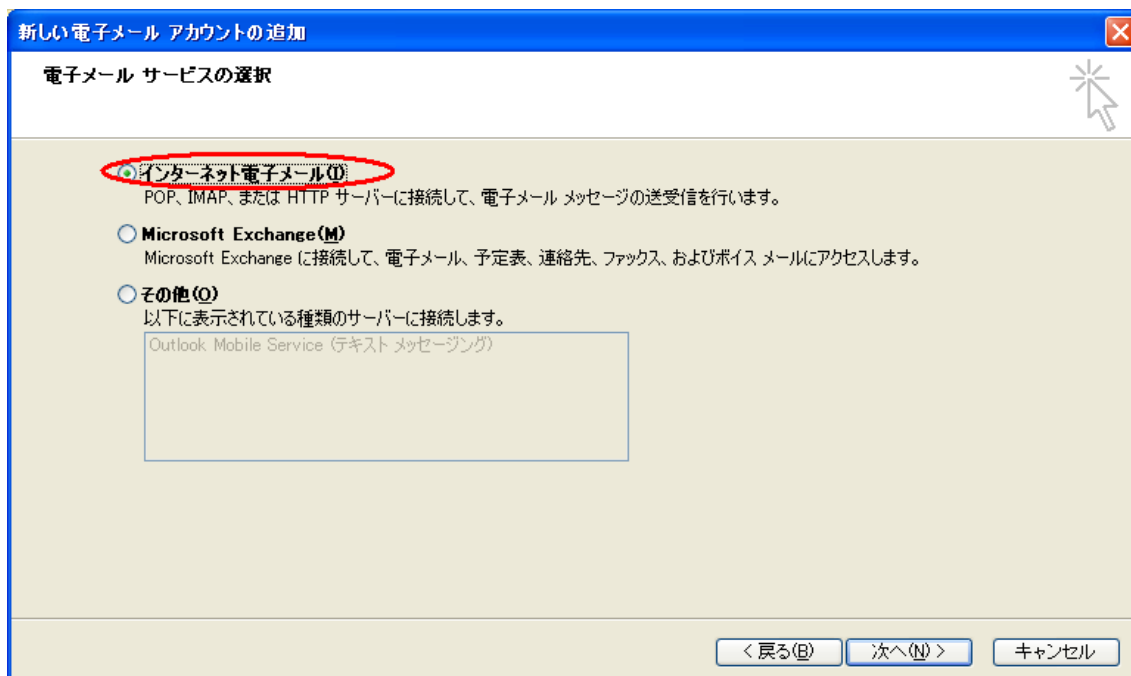


The screenshot shows the 'Add New Email Account' dialog box with the 'Manual Setup' tab selected. The title bar reads '新しい電子メール アカウントの追加'. The tab is labeled '自動アカウント セットアップ'. The form contains the following fields:

- 名前(N): [Text Box] (Example: Eiji Yasuda)
- 電子メール アドレス(E): [Text Box] (Example: eiji@contoso.com)
- パスワード(P): [Text Box]
- パスワードの確認入力(C): [Text Box] (Instruction: インターネット サービス プロバイダから提供されたパスワードを入力してください。)

At the bottom, there is a checkbox labeled 'サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する(M)' which is checked and circled in red. Navigation buttons at the bottom right are '< 戻る(B)', '次へ(N) >', and 'キャンセル'.

次に、「インターネット電子メール」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the 'Add New Email Account' dialog box with the 'Select Service' tab selected. The title bar reads '新しい電子メール アカウントの追加'. The tab is labeled '電子メール サービスの選択'. The form contains the following options:

- ☒ インターネット電子メール(I) (Circled in red)
POP, IMAP, または HTTP サーバーに接続して、電子メール メッセージの送受信を行います。
- ☐ Microsoft Exchange(M)
Microsoft Exchange に接続して、電子メール、予定表、連絡先、ファックス、およびボイス メールにアクセスします。
- ☐ その他(O)
以下に表示されている種類のサーバーに接続します。
Outlook Mobile Service (テキスト メッセージング)

Navigation buttons at the bottom right are '< 戻る(B)', '次へ(N) >', and 'キャンセル'.

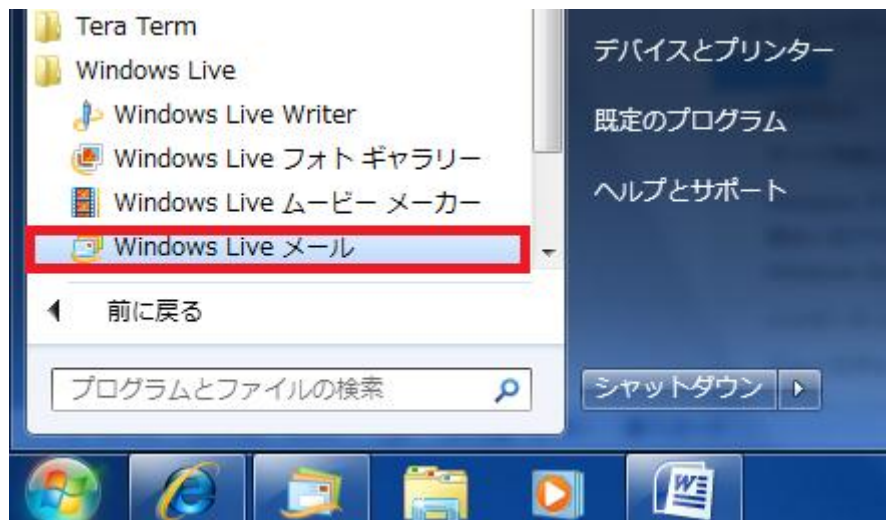
次に、「名前」・「電子メールアドレス」・「受信メールサーバー」(pop.ma.catvy.ne.jp)・「送信メールサーバー」(smtp.ma.catvy.ne.jp)・「アカウント名」・「パスワード」の各項目を、パラメータシートを参照し入力してください。なお、「アカウントの種類」は「POP3」になっていることを確認してください。

全ての入力が終わりましたら、「アカウント設定のテスト」をクリックし、異常がないかをチェックしてください。なお、異常個所があった場合は、再度設定の確認をお願いします。以上でメールの登録作業はすべて終了です。

Windows live メール (Windows 7)

スタートボタンからすべてのプログラム内にある Windows live のフォルダ内の Windows live メールを立ち上げてください。

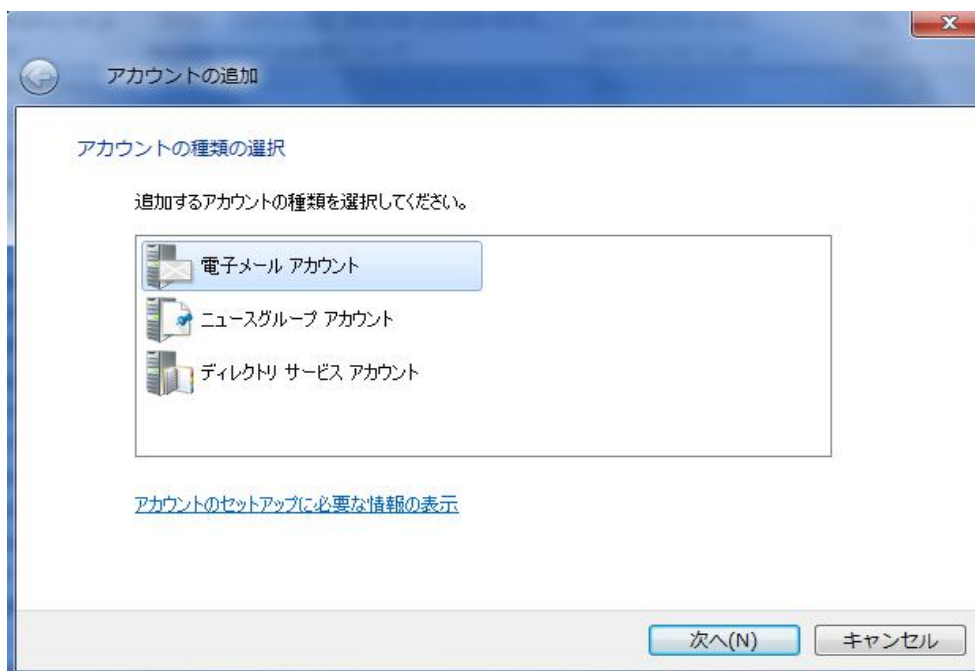
※ プログラムがない場合は、<http://download.live.com/wlmail>よりダウンロードしてください。



メニューバーより「ツール」を選び、「アカウント」を選択します。

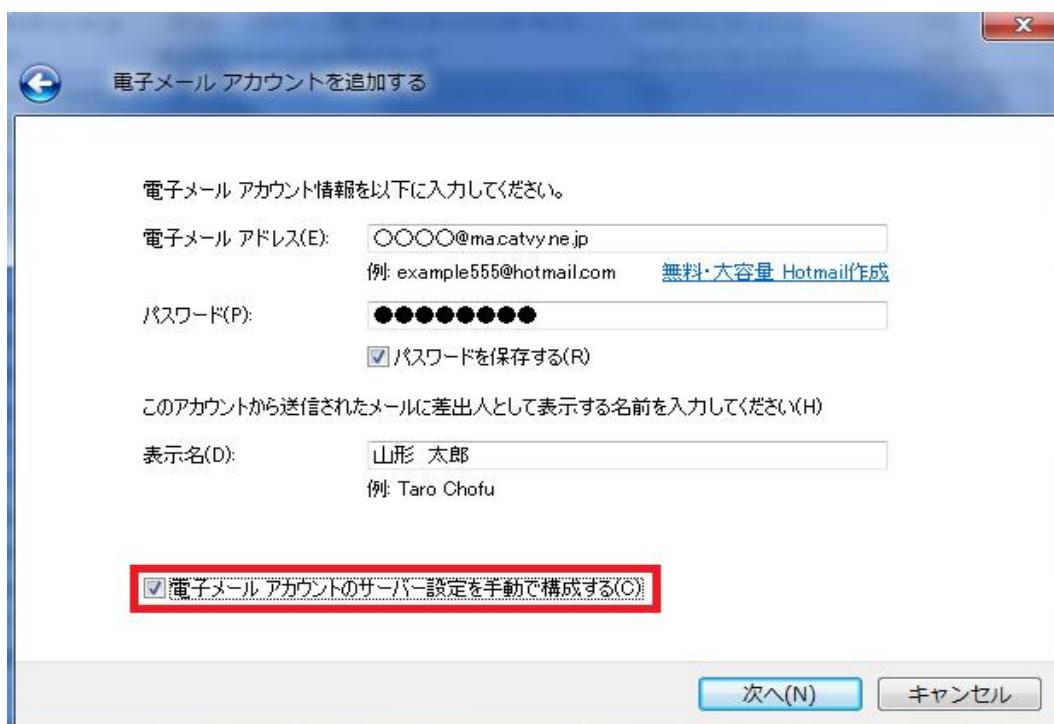


「アカウント」の画面右側の「追加」を選択し、下図の画面で「電子メールアカウント」が選ばれている状態にし、「次へ」をクリックします。



次に、電子メールアドレス・パスワード・表示名を入力します。ここでは「山形 太郎」となっていますが、アルファベット表記でもかまいません。また、この項目は必ずしも氏名である必要はございませんので好きなものを任意で入力します。

その後、「電子メールアカウントのサーバー設定を手動で構成する」チェックを入れ「次へ」をクリックします。



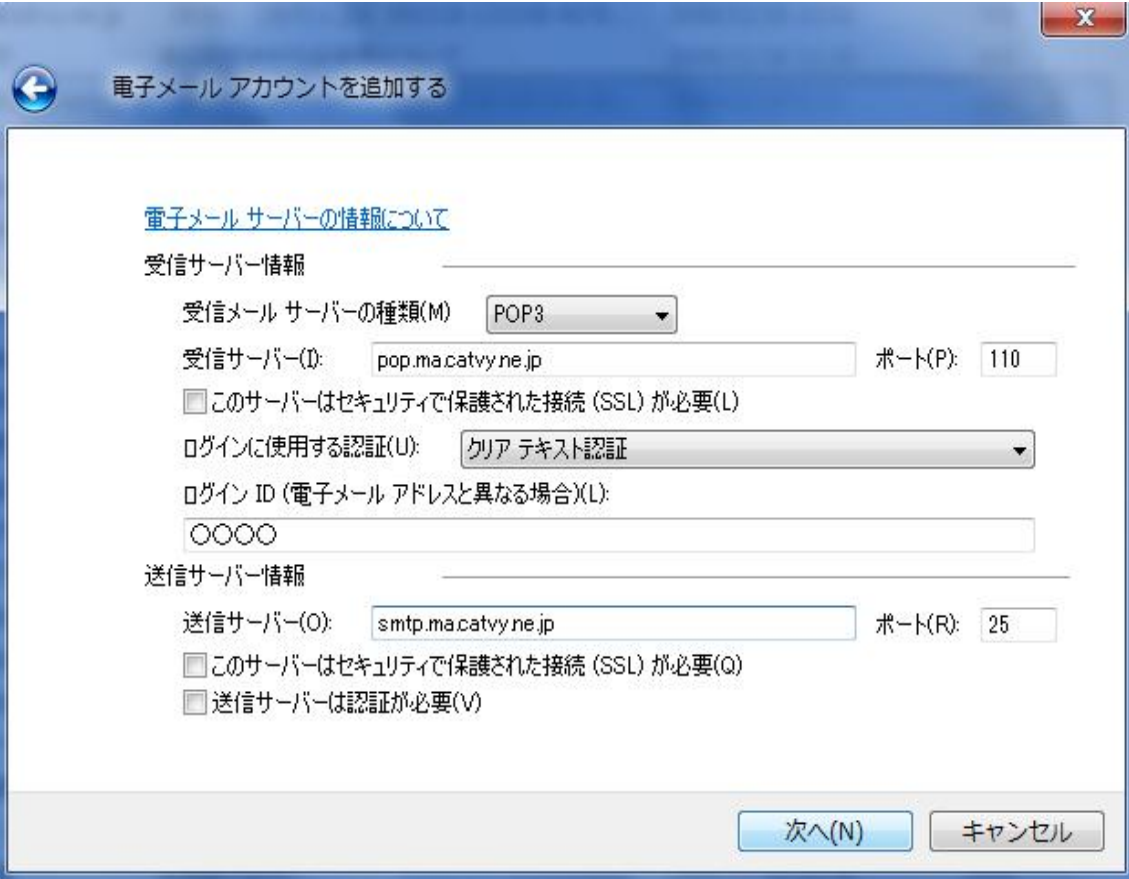
次に、受信メールサーバーの種類が「POP3」になっていることを確認し、受信メールサーバー・送信メールサーバーを設定します。

受信メールサーバー (POP3) : pop.ma.catvy.ne.jp

送信メールサーバー (SMTP) : smtp.ma.catvy.ne.jp

ユーザー名 : パラメータシートに記載 (ユーザーアカウント)

パスワード : パラメータシートに記載 (アルファベットの大/小文字は区別します)



電子メール アカウントを追加する

[電子メール サーバーの情報について](#)

受信サーバー情報

受信メール サーバーの種類(M) POP3

受信サーバー(I): pop.ma.catvy.ne.jp ポート(P): 110

☐ このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(L)

ログインに使用する認証(U): クリア テキスト認証

ログイン ID (電子メール アドレスと異なる場合)(L): OOOO

送信サーバー情報

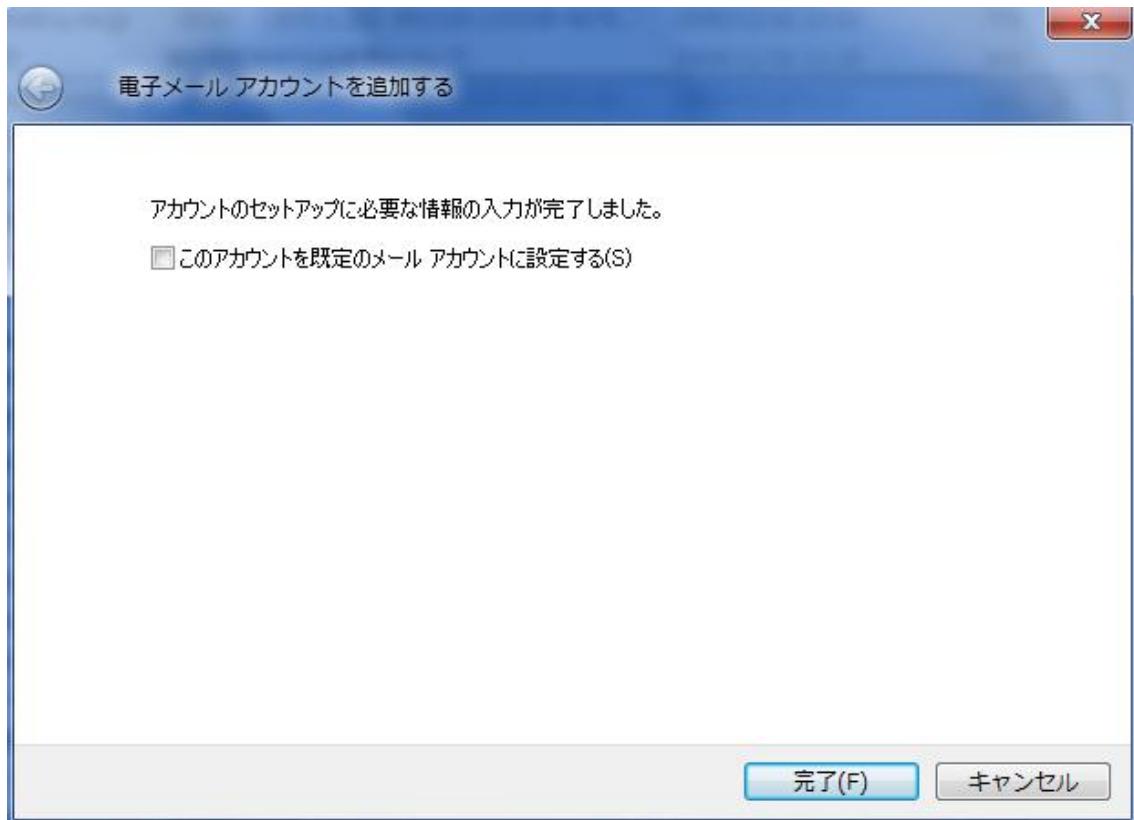
送信サーバー(O): smtp.ma.catvy.ne.jp ポート(R): 25

☐ このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

☐ 送信サーバーは認証が必要(V)

次へ(N) キャンセル

入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。



「完了」の画面がでましたら、「完了」をクリックして終了してください。
なお、複数のアカウントを設定する際に「このアカウントを既定のメールアカウントに設定する」にチェックを入れると、そちらが規定のアカウントになります。

全ての設定が終了しますと、「インターネットアカウント」の画面に戻ります。「メール」の部分に、「**Ma.catvy.ne.jp**」という表記になっていれば登録は完了しています。右下の「閉じる」をクリックしてください。
以上でメールの登録作業はすべて終了です。

<設定内容の確認>

※メール送受信の際エラーが発生した場合や、設定項目を訂正したい場合にご参照ください。

Windows live メールメニューバーの「ツール」から「アカウント」を選択してください。

「アカウント」ウィンドウが出ますので、「○○○○@ma.catvy.ne.jp」が選択されている状態で右側の項目の「プロパティ」をクリックしてください。

プロパティが出ましたら下図のように「全般」のタブをクリックし、「ユーザー情報」の「名前」、「電子メールアドレス」が正しく入力されているか確認します。「名前」は任意のものに変更可能です。

メールアドレス：パラメータシートに記載（“ユーザーアカウント “@ma.catvy.ne.jp” という書式）

○○○○@ma.catvy.ne.jp プロパティ

全般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定

メール アカウント

これらのサーバーに覚えやすい名前を付けてください (例: 仕事、Windows Live Hotmail)。

○○○○@ma.catvy.ne.jp

ユーザー情報

名前(N): 山形 太郎

会社(O):

電子メール アドレス(M): ○○○○@ma.catvy.ne.jp

返信アドレス(Y):

☒ メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める(I)

OK キャンセル 適用(A)

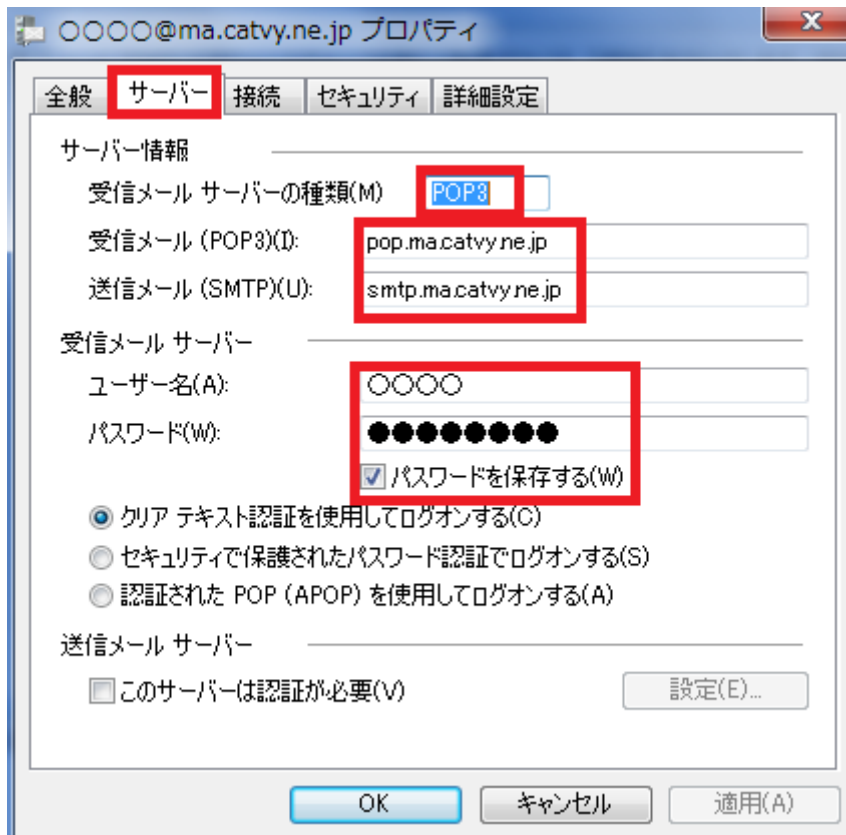
次に「サーバー」のタブをクリックし、「サーバー情報」項目の「受信メールサーバーの種類」、「受信メール (POP3)」「送信メール (SMTP)」のアドレスを確認してください。

「受信メールサーバー」項目の「アカウント名」を確認してください。

「セキュリティで保護されたパスワード認証でログオンする」の項目のチェックはしないでください。

「送信メールサーバー」項目の「このサーバーは認証が必要」の項目のチェックはしないでください。

受信メールサーバー (POP3) : pop.ma.catvy.ne.jp
 送信メールサーバー (SMTP) : smtp.ma.catvy.ne.jp
 アカウント名 : パラメータシートに記載 (ユーザーアカウント)
 パスワード : パラメータシートに記載 (アルファベットの大小文字は区別します。)



なお、次のようなエラーが出る場合は、アカウント名・パスワードを間違えて設定してある可能性があります。再度、パラメータシートを参照の上、設定してください。



第五章 付記

「落雷」によるパソコンのイーサネットアダプタ及び、モデムの故障防止法

近くに 落雷が生じますと、モデムやパソコンのイーサネットアダプタ（LANボード）が、電源部分から入った落雷時のサージ電流により、故障してしまうケースがあります。

お客様宅のCATV設備には、落雷による被害を防ぐために保安器が設置されています。落雷による電流は保安器で止められるため、CATVの同軸ケーブルからの進入による雷被害はほとんどありません。落雷による被害は、そのほとんどが電源側からの雷サージによるもので、雷サージが、パソコンの電源から入り、パソコンとモデムを唯一結んでいるイーサネットストレートケーブルを経由してモデムからCATVの同軸端子経由で保安器のアースに抜けることによります。

この際に、モデムとパソコンのイーサネットアダプタの双方に異常電圧がかかり、どちらか弱い方か、あるいは双方が故障してしまいます。

1.雷時の対策方法

雷が鳴っているときや、落雷による被害が予想される場合は、次のような対策をお願い致します。

■パソコンの電源をコンセントから外す。

必ずパソコンを正常に終了させ、パソコン本体の電源を切った状態にしてから行ってください。

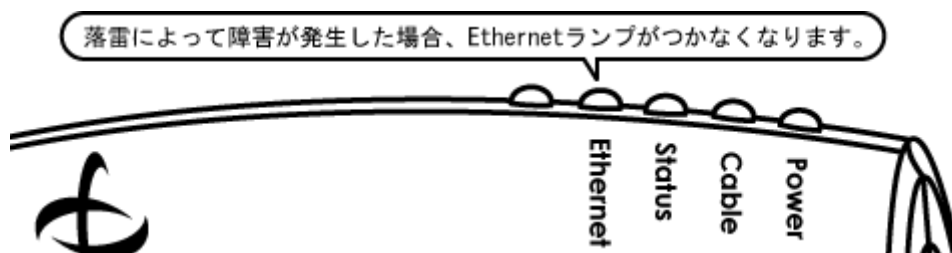
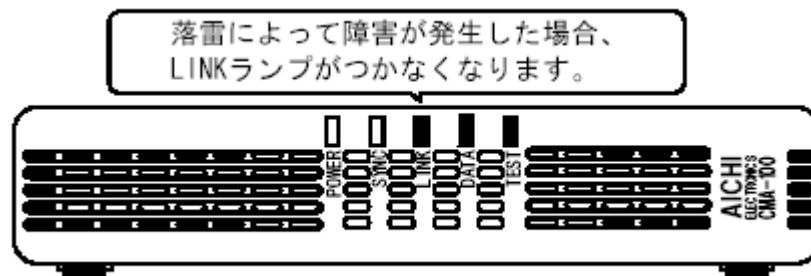
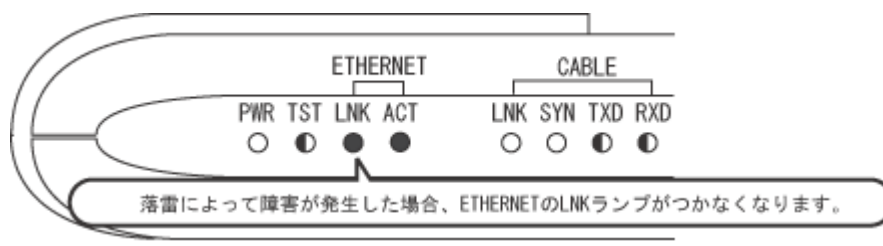
■イーサネットストレートケーブルをモデムから外す。

モデムとパソコンとをつないでいるケーブルで、透明のモジュラコネクタがついているケーブルです。

落雷によるイーサネットアダプタ、ルーター、パソコン等の機器の故障について、ケーブルテレビ山形では一切補償いたしません。予めご了承ください。

2.雷故障が発生した場合は？

故障は、ほとんどの場合、サージ電流に弱いモデムのイーサネット挿入回路部分や、パソコンのイーサネットアダプタに現れます。落雷の影響があった場合、モデムの電源が入らなくなったり、電源は入りますが、図のように、パソコンの電源が入った状態でもETHERNETのリンクランプがつかなくなります。



万一、雷害により、モデムが故障してしまった場合、弊社までご一報ください。

Q&A

Q1. ブロードバンドルーターを使用し、エクストラパックの申込みをせずに複数台のパソコンは接続できますか？

A1 ケーブルモデムとブロードバンドルーターを接続することで原則的には可能です。接続に際しモデムの電源リセットを行い、プライベート IP アドレス固定方式の場合は、ブロードバンドルーターに IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレス、ネームサーバー IP アドレスを設定する必要があります。設定方法の詳細は弊社ではお答えできませんので、ブロードバンドルーターのメーカーにお問合せください。

なお、弊社では全ての機種で動作確認を行っておりません。ブロードバンドルーターを使用した場合は、設定及び接続サポートの対象外となります。またブロードバンドルーターを使用した場合のパソコンの設定及び通信不具合についてはサポートできませんので、お客様の自己責任においてお使いください。

Q2. 無線 LAN は使用できますか？

A2. 原則的に利用可能です。ルーター内蔵タイプについては、上記に準じます。無線 LAN を使用した場合のパソコンの設定及び通信不具合についてはサポートできませんので、お客様の自己責任においてお使いください。

Q3. 職場、学校や、他のプロバイダなど外部のネットワークから、ケーブルテレビ山形のメールサーバーは利用できますか？

A3. メール受信・送信ともに外部のネットワークから利用することが可能です。送信の際は、サブミッションポートによる SMTP 認証をしております。

● 設定方法

1. メール送信サーバアドレスを[smtp.ma.catvy.ne.jp]に変更する。
2. メール送信のポートを[25]から[587]に変更する。
3. メール送信サーバの認証設定を ON にして、お客様のアカウント・パスワードを設定する。

設定方法の詳細については、下記リンクをご参照ください。

<http://www.catvy.ne.jp/port587/>

Q4. ゲーム機（PS3/Wii/XBOX360）などにつなぎ、インターネットに接続できますか？

A4. ゲーム機の仕様に準じますが、原則的には可能です。パソコンとゲーム機で LAN ケーブルを抜き差しして利用する場合は、接続する機器が変わる度に、モデムの電源の再投入が必要となります。また、ゲーム機の設定及び通信不具合についてはサポートできませんので、お客様の自己責任においてお使いください。